(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第6809719号
(P6809719)
(45)発行日　令和3年1月6日(2021.1.6)　(24)登録日　令和2年12月14日(2020.12.14)

(51)Int.Cl.　F I
G06Q 50/10 (2012.01)　G06Q 50/10
H04N 21/2743 (2011.01)　H04N 21/2743
H04N 21/2543 (2011.01)　H04N 21/2543
G06F 13/00 (2006.01)　G06F 13/00　５６０Ｃ

請求項の数 5　(全 31 頁)

(21)出願番号　特願2019-25987(P2019-25987)
(22)出願日　平成31年2月15日(2019.2.15)
(65)公開番号　特開2020-135238(P2020-135238A)
(43)公開日　令和2年8月31日(2020.8.31)
審査請求日　令和2年9月17日(2020.9.17)

早期審査対象出願

(73)特許権者　518332859
ステルスバリュー合同会社
東京都港区六本木２丁目３番９号
(74)代理人　100205659
弁理士　齋藤　拓也
(74)代理人　100154748
弁理士　菅沼　和弘
(72)発明者　徳永　昌裕
東京都港区六本木２丁目３番９号　ステルスバリュー合同会社内
(72)発明者　伊藤　聡
東京都港区六本木２丁目３番９号　ステルスバリュー合同会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】情報処理装置及びプログラム

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
１以上の画像を含む情報を配信する１以上の配信者と、配信された前記情報を取得する取得者とを支援する情報処理装置であって、
前記配信者毎に設定されたコンテンツの夫々を、設定された前記配信者の夫々と対応付けて管理するコンテンツ管理手段と、
所定条件が満たされた場合、所定配信者に設定された前記コンテンツを前記取得者に提供するコンテンツ提供手段と、
前記コンテンツ提供手段により提供された前記コンテンツについて、前記所定配信者を贈与対象者として、前記取得者から当該贈与対象者に対する贈与の希望がなされた場合、それを贈与希望として受付ける贈与受付手段と、
前記贈与希望の内容に基づいて、前記贈与対象者に対して所定の処理を実行する実行手段と、
第１の前記配信者に設定された第１の前記コンテンツと、第２の前記配信者に設定され、前記取得者により取得された第２の前記コンテンツとの交換の希望がなされた場合、それを交換希望として受付ける交換受付手段と、
を備え、
前記コンテンツ提供手段は、
前記交換受付手段により前記交換希望が受付けられると、前記所定条件が満たされたとして、前記取得者に前記第１の前記コンテンツを提供し、

前記実行手段は、
さらに、前記交換希望の内容に基づいて、前記第１の前記配信者に前記第２の前記コンテンツを提供する、
情報処理装置。
【請求項２】
前記コンテンツは前記取得者に対して提供し得る対価の額により１以上の種別に分類される、
請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記コンテンツは、それと対応付けられる前記配信者の夫々によって設定される、
請求項１又は２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記コンテンツは、さらに、売買、又はコンテンツ同士の交換により流通可能とされる、
請求項１乃至３のうちいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項５】
１以上の画像を含む情報を配信する１以上の配信者と、配信された前記情報を取得する取得者とを支援する情報処理装置により実行されるプログラムであって、
前記配信者毎に設定されたコンテンツの夫々を、設定された前記配信者の夫々と対応付けて管理するコンテンツ管理ステップと、
所定条件が満たされた場合、所定配信者に設定された前記コンテンツを前記取得者に提供するコンテンツ提供ステップと、
前記コンテンツ提供ステップの処理により提供された前記コンテンツについて、前記所定配信者を贈与対象者として、前記取得者から当該贈与対象者に対する贈与の希望がなされた場合、それを贈与希望として受付ける贈与受付ステップと、
前記贈与希望の内容に基づいて、前記贈与対象者に対して所定の処理を実行する実行ステップと、
第１の前記配信者に設定された第１の前記コンテンツと、第２の前記配信者に設定され、前記取得者により取得された第２の前記コンテンツとの交換の希望がなされた場合、それを交換希望として受付ける交換受付ステップと、
を含む制御処理を実行させ、
前記コンテンツ提供ステップでは、
前記所定条件として、前記交換受付ステップで前記交換希望が受付けられると、前記取得者に前記第１の前記コンテンツを提供し、
前記実行ステップでは、
さらに、前記交換希望の内容に基づいて、前記第１の前記配信者に前記第２の前記コンテンツを提供する、
プログラム。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、情報処理装置及びプログラムに関する。
【背景技術】
【０００２】
近年、ストリーミング技術を応用したライブストリーミングとして、デジタルカメラ等で撮像・録音された、動画像及び静止画像を含む画像及び音声（以下、「画像等」と呼ぶ）を、リアルタイムで配信可能とするサービス（以下、「ライブ配信サービス」と呼ぶ）が注目されている。
このライブ配信サービスでは、観覧者が演者に対して、任意に金銭を贈与等する行為（例えば、「投げ銭」とも呼ばれる）等を支援するシステムも考案されている。

具体的に例えば、ライブ配信サービスの視聴者は、配信された画像等を視聴することで、当該サービスの配信者を応援したいという気持ちになった場合に、所定の手法を用いて、当該配信者に対して贈与やプレゼントを実施する。

例えば特許文献１には、配信される動画への投票操作により、その動画やその出演者（配信者）を応援することができる、とされる情報端末装置についての技術が記載されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【０００３】

【特許文献１】特開２０１８－１８２５４６号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【０００４】

しかしながら、上述の特許文献１に記載の技術を含む従来技術のみでは、技術的な限界や各種法律の規制等により、配信者及び視聴者のいずれにとっても、必ずしも満足のいく、利便性の高いサービスが提供されているということはできないという状況であった。

【０００５】

本発明は、このような状況に鑑みてなされたものであり、画像等を配信する者、及び配信された画像等を視聴する者の夫々にとって、より利便性の高いサービスを提供することを補助するための技術を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００６】

上記目的を達成するため、本発明の一態様の情報処理装置は、

１以上の画像を含む情報を配信する１以上の配信者と、配信された前記情報を取得する取得者とを支援する情報処理装置であって、

前記配信者毎に設定されたコンテンツの夫々を、設定された前記配信者の夫々と対応付けて管理するコンテンツ管理手段と、

所定条件が満たされた場合、所定配信者に設定された前記コンテンツを前記取得者に提供するコンテンツ提供手段と、

前記コンテンツ提供手段により提供された前記コンテンツについて、前記所定配信者を贈与対象者として、前記取得者から当該贈与対象者に対する贈与の希望がなされた場合、それを贈与希望として受付ける贈与受付手段と、

前記贈与希望の内容に基づいて、前記贈与対象者に対して所定の処理を実行する実行手段と、

を備える。

【０００７】

本発明の一態様のプログラムは、上述の本発明の一態様の情報処理装置に対応するプログラムである。

【発明の効果】

【０００８】

本発明によれば、画像等を配信する者、及び配信された画像等を視聴する者の夫々にとって利便性の高いサービスを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【０００９】

【図１】本発明の情報処理装置を含む情報処理システムにより実現可能な配信視聴支援サービス（以下、「本サービス」と呼ぶ）の概要を示す図である。

【図２】配信者端末及び視聴者端末の夫々に表示される画面の一例を示す図である。

【図３】視聴者が、視聴者端末を操作して贈与を行う際、視聴者端末に表示される操作画面の一例を示す図である。

【図４】本サービスに含まれるマルチ配信サービスの概要を示すイメージ図である。

【図５】本発明の情報処理装置の一実施形態に係る管理サーバを含む、情報処理システムの構成を示す図である。
【図６】図５の情報処理システムを構成する管理サーバのハードウェア構成の一例を示すブロック図である。
【図７】図６の管理サーバを含む情報処理システムの機能的構成のうち、配信支援処理、視聴支援処理、及びコンテンツ管理処理を実行するための機能的構成を示す機能ブロック図である。
【図８】図７の機能的構成を有する管理サーバを含む、情報処理システムによる処理の流れを示すアローチャートである。
【図９】配信者端末に表示されるＧＵＩ（Ｇｒａｐｈｉｃａｌ　Ｕｓｅｒ　Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ）の具体例を示す図である。
【図１０】視聴者端末に表示される配信者リストの具体例を示す図である。
【図１１】視聴者端末に表示されるポップアップ画面の具体例を示す図である。
【図１２】視聴者端末に表示される、配信者の詳細情報を示す画面の具体例を示す図である。
【図１３】コンテンツ購入サイトのうち、コンテンツを購入する際に、視聴者端末に表示される画面の具体例を示す図である。
【図１４】コンテンツ購入サイトのうち、コンテンツを購入するとともに、コンテンツ同士の交換を行う際に、視聴者端末に表示される画面の具体例を示す図である。
【図１５】図１４に示すコンコン交換を行う際に表示されるダイアログの具体例を示す図である。
【図１６】コンコン交換のみを行う際に表示される画面の具体例を示す図である。
【図１７】コンテンツ購入サイトのうち、コンテンツを購入するための決済処理が行われる際に表示される確認画面の具体例を示す図である。
【図１８】コンテンツの売却時に表示される画面の例を示す図である。
【図１９】管理サーバの構成を、メインサーバと、ビデオサーバと、コメントサーバとに区分した場合の例を示す図である。
【発明を実施するための形態】
【００１０】
以下、本発明の実施形態について図面を用いて説明する。
【００１１】
［サービス概要］
まず図１乃至図４を参照して、後述する図４の情報処理システムの適用対象となる本サービスの概略について説明する。
図１は、本発明の情報処理装置を含む情報処理システムにより実現可能な本サービスの概要を示す図である。
【００１２】
図１に示すように、本サービスは、管理サーバ１を含む情報処理システムを管理するサービス提供者Ｇにより提供されるサービスである。
具体的には、本サービスは、撮像された１以上の画像Ｐ１乃至Ｐｒ（ｒは１以上の整数値）のデータ、録音された音声のデータのうち少なくとも一方を含む情報（以下、「配信情報」と呼ぶ）を配信する配信者Ｙと、配信された配信情報を取得する視聴者Ａとを支援するサービスである。
ただし、本サービスにおける配信者Ｙ及び視聴者Ａは、夫々立場が固定されているわけではない。つまり、視聴者Ａとして配信者Ａの配信情報を視聴していた者が、配信者Ｙの立場で配信情報を配信することもできるし、配信者Ｙとして配信情報を配信していた者が、視聴者Ａの立場で配信情報を視聴することもできる。
「画像」には、例えば撮像された動画像及び静止画像、作成されたアニメーション動画、並びに映画などのコンテンツ動画等が含まれる。
「配信情報」には、例えば動画像ＭＰ、音声、文字等が含まれる。具体的には例えば、

配信中に発生したイベント（例えば後述する「プレゼント」等）における各種表現（例えばイベント発生時のアニメーションや情報テロップ等）の実行に必要となる情報は、配信情報の一例である。

「配信」には、画像Ｐ１乃至Ｐｒのリアルタイムでの配信と、所定時間が経過後の録画配信とが含まれる。

以下、画像Ｐ１乃至Ｐｒを個々に区別する必要がない場合、これらをまとめて、「画像Ｐ」と呼ぶ。

【００１３】

なお、図１には、配信者Ｙと、視聴者Ａとが夫々１人ずつ描画されている。また、配信者Ｙが本サービスを利用するために用いる配信者端末２と、視聴者Ａが本サービスを利用するために用いる視聴者端末３とが夫々１台ずつ描画されている。ただし、これは本サービスの利用者である配信者Ｙと視聴者Ａとの関係を説明するために簡略化させたものである。即ち、実際には、本サービスの利用者として、配信者Ｙ１乃至Ｙｎ（ｎはｒとは独立した１以上の整数値）と、視聴者Ａ１乃至Ａｍ（ｍはｒ及びｎとは独立した１以上の整数値）とが存在する。

以下、配信者Ｙ１乃至Ｙｎ、及び視聴者Ａ１乃至Ａｍの夫々を個々に区別する必要がない場合、これらをまとめて「配信者Ｙ」、及び「視聴者Ａ」の夫々と呼ぶ。

【００１４】

本サービスの利用者である視聴者Ａは、配信者Ｙに対するプレゼント行為を通じて、配信者Ｙを応援することができる。

本サービスにおける「プレゼント」とは、具体的には、視聴者Ａが、本サービスにより販売される、配信者Ｙｔ（ｔは１からｎまでのうちｎとは独立した任意の値）に設定されたコンテンツＣを購入し、購入したコンテンツＣを特定の配信者Ｙに贈与することをいう。

なお、視聴者Ａがコンテンツを購入するために支払う対価には、所定の通貨（例えば日本円）、本サービスで利用可能なポイント等が含まれる。

【００１５】

本サービスでは、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々に対して設定される１以上のコンテンツＣは、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々を一意に識別する情報（例えば配信者ＩＤ）に対応付けられて管理されている。

【００１６】

本サービスを利用する視聴者Ａは、１以上のコンテンツＣが夫々設定されている配信者Ｙ１乃至Ｙｎのうち、所定の配信者Ｙｔに設定されているコンテンツＣを取得することができる。視聴者Ａがコンテンツを取得する手法としては、購入、コンテンツＣ同士の交換等がある。

なお、視聴者Ａが、配信者Ｙｔに設定されている１以上のコンテンツＣを取得する具体的手法の具体例については、図１３乃至図１８を参照して後述する。

【００１７】

配信者Ｙｔに設定されたコンテンツＣを取得した視聴者Ａは、取得したコンテンツＣが設定されている配信者Ｙｔに対し、取得した当該コンテンツＣをプレゼントとして贈与することができる。

即ち、本サービスにおけるコンテンツＣには、１個あたりの価値（以下、「ポイント」と呼ぶ）が対応付けられている。配信者Ｙは、自身に設定されているコンテンツＣを贈与してもらうことで、当該コンテンツＣに対応付けられているポイントを、自身が贈与された累積ポイントに加算することができる。例えば、配信者Ｙｔに設定されているコンテンツＣに対応付けられているポイントが１０ポイントである場合、配信者Ｙｔは、当該コンテンツＣを贈与してもらうことで、贈与された累積ポイントが１０ポイント増加することとなる。

なお、本実施形態では、配信者Ｙに付与されるポイントの単位を「スター」と呼ぶ。

【００１８】

具体的には、視聴者Ａは、配信者Ｙｔに設定されたコンテンツＣを取得することで、コンテンツＣを配信者Ｙｔに贈与することが可能となる。さらに、視聴者Ａが、配信者Ｙｔへコンテンツの贈与を希望した場合には、当該希望は、視聴者Ａによる配信者Ｙｔ（以下、「贈与対象者」と呼ぶ）への贈与希望として受付けられ、その贈与希望の内容に基づいて、贈与対象者（配信者Ｙｔ）に対しコンテンツＣが提供される。換言すると、提供されたコンテンツＣに対応付けられたポイントが、配信者Ｙｔに贈与された累積ポイントとして追加される。

【００１９】

配信者Ｙｔに設定されたコンテンツＣに対応付けられたポイントは、本サービスにおいて、視聴者Ａが配信者Ｙｔを評価するための一基準として利用することができる。例えば配信者Ｙ１が贈与された累積ポイントの値が１０００スターであり、Ｙ２が贈与された累積ポイントの値が３００スターである場合を想定する。この場合、配信者Ｙ２よりも配信者Ｙ１の方が視聴者Ａから多くのコンテンツＣをプレゼントされていることになるので、視聴者Ａから高く評価されていることになる。

【００２０】

贈与された累積ポイント数が特に多い配信者Ｙは、例えば図１０（Ｂ）に示すように、本サービスにより提供される専用のアプリケーションプログラム（以下、「専用アプリ」と呼ぶ）のランキングのページ等で紹介されることになる。ランキングのページ等で紹介されると、さらに視聴者Ａの数が増えることが期待できるので、贈与された累積ポイントを増やしたいとする配信者Ｙの増加が期待できる。

【００２１】

本サービスにおいて、配信者Ｙｔに設定されたコンテンツＣは、視聴者Ａ１乃至Ａｍの夫々に対して提供し得る対価の額、及び対応するポイントに応じて、１以上の種別に分類される。具体的には例えば、配信者Ｙｔに設定されたコンテンツＣは、１個あたりの対価及び対応するポイントが、１００円（１スター）、５００円（５スター）、１０００円（１０スター）、２５００円（２５スター）、５０００円（５０スター）、又は１００００円（１００スター）の６種類に分類することができる。

なお、本サービスにおけるコンテンツＣは、常に配信者Ｙに紐付けられているものであるため、正確には「配信者Ｙｔに設定されたコンテンツＣ」であるが、本明細書では単に「コンテンツＣ」とも呼ぶ。

【００２２】

ここで、従来、配信者は、ライブ配信サービスを配信する場合、ライブ配信サービスを提供する夫々のＷｅｂサイト（以下、（１以上の種類の）「ライブ配信サイト」と呼ぶ）毎に、配信環境を設定し、ライブ配信サイト毎に配信を行わなければならないため、面倒な思いをすることが多かった。

これに対し、本サービスによれば、同一の配信情報を１以上の種類のライブ配信サイトに一括して配信することが可能となる。即ち、配信者Ｙは、従来のような面倒な思いをすることなく、同一の配信情報を１以上の種類のライブ配信サイトに同時に又は略同時に配信することができる。なお、このように、配信者が１以上の種類のライブ配信サイトに対して、一括して、同一の配信情報を配信することができるサービスのことを、以下、マルチ配信サービスと呼ぶ。なお、マルチ配信サービスの具体例については、図４を参照して後述する。

【００２３】

図２は、配信者端末２及び視聴者端末３の夫々に表示される画面の一例を示す図である。

【００２４】

図２（Ａ）には、配信者Ｙが、配信者端末２を操作して配信情報を配信する際、配信者端末２に表示される操作画面の一例が示されている。

配信者端末２に表示される操作画面は、表示領域Ｆ２１乃至Ｆ２５で構成される。

【００２５】

表示領域Ｆ２１には、画面のタイトル（例えば図２（Ａ）の例では「Ｌｉｖｅ」というタイトル）が表示される。
表示領域Ｆ２２には、撮像された配信者Ｙの配信情報が表示される。なお、図２（Ａ）の表示領域Ｆ２２、及び後述する図２（Ｂ）の表示領域Ｆ３２に表示されている動画像は例示であり、配信者Ｙが表示される場合に限られない。

【００２６】

表示領域Ｆ２３には、「Ｍ１」乃至「Ｍ４」と夫々表示された、４種類のアイコンからなるボタンＢ２１と、「前カメラ」と表示されたボタンＢ２２と、「画像」と表示されたボタンＢ２３とが表示されている。
ボタンＢ２１は、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の夫々の配信状態を示すとともに、設定画面に画面遷移させるためのボタンである。
図２（Ａ）の例では、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の夫々の配信状態を示す４種類のアイコンが表示されている。
ここで、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の配信状態を示すための具体的手法は特に限定されない。例えば、配信情報が配信中である場合と、配信可能な状態である場合と、配信に必要となる個別設定が行われていない状態である場合とで、アイコンを色分けしてもよい。
これにより、配信者Ｙは、例えばライブ配信サイトＭ１は「配信中」、ライブ配信サイトＭ２は「配信可能」、ライブ配信サイトＭ３は「未設定」、といったように、ライブ配信サイト毎の配信状態を容易に把握することができる。

【００２７】

また、これら４種類のアイコンは、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の設定画面にリンクするボタンＢ２１を構成する。例えば、ライブ配信サイトＭ４を示すアイコン（ボタンＢ２１）が押下されると、ライブ配信サイトＭ４に配信情報を配信する際に必要となる各種設定を行うことができる画面（図示せず）が表示される。これにより、配信者Ｙは、「未設定」の状態にあるライブ配信サイトＭ４に配信情報を配信するために必要な設定を容易に行うことができる。

【００２８】

ボタンＢ２２は、配信者Ｙを撮像可能な複数のカメラ（図示せず）のうち、表示領域Ｆ２２に表示させる配信情報を切替えるためのボタンＢ２２が表示されている。図２（Ａ）の例では、「前カメラ」と表示されたボタンＢ２２が押下されると、表示領域Ｆ２２に表示される配信情報は、配信者端末２の背面側に配置されたカメラの撮像画像から、配信者端末２の前面側に配置されたカメラの撮像画像に切り替わる。またこの場合、ボタンＢ２２は、「前カメラ」という表示から、「背カメラ」という表示（図示せず）に切り替わる。

【００２９】

ボタンＢ２３は、画像選択画面を表示させる際に押下されるボタンである。「画像選択画面」とは、配信者端末２に記憶されている１以上の画像を一覧表示させた画面のことをいう。
ボタンＢ２３が押下されると、図示せぬ画像選択画面が、表示領域Ｆ２４に表示される。配信者Ｙは、画像選択画面から任意の画像を選択することで、選択した画像を配信することができる。

【００３０】

表示領域Ｆ２４には、配信者Ｙ及び視聴者Ａの夫々がライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の夫々に投稿したコメントがリアルタイムで表示される。
表示領域Ｆ２５には、「配信サムネ」と表示されたボタンＢ２４と、「コメント」と表示されたボタンＢ２５と、設定ボタンＢ２６とが表示される。

【００３１】

ボタンＢ２４は、配信する配信情報のサムネイル画像を撮像する際に押下されるボタンである。ボタンＢ２４が押下されると、ボタンＢ２４が押下されたタイミングにおける、

表示領域Ｆ２２に表示された画像Ｐが保存されるとともに、表示領域Ｆ２４の一部に表示される。配信者Ｙは、表示領域Ｆ２４の一部に表示された画像Ｐをサムネイルとして実際に使用する場合には、その決定を行うための所定の操作を行う。ここで、後述する図１０（Ａ）に表示される配信中サムネイルとして登録するとともに、表示領域Ｆ２４にサムネイルを使用するライブ配信サイトを選択するためのアイコンを表示させてもよい。

ここで、サムネイルを決定するための具体的な操作手法は特に限定されない。例えば、表示領域Ｆ２４の一部に表示された画像Ｐを押下（例えばタップ）する操作が行われた場合に、サムネイルが決定されてもよい。また、サムネイルとして使用しない場合には、画像Ｐに対する所定操作（例えばフリック）を行うことでキャンセルできるようにしてもよい。

【００３２】

ボタンＢ２５は、表示領域Ｆ２４に表示させるコメントを入力する際に押下されるボタンである。ボタンＢ２５が押下されると、配信者端末２には、コメントを入力して送信するためのダイアログ（以下、「コメント送信ダイアログ」と呼ぶ）が表示される。なお、コメント送信ダイアログの詳細については、図９（Ｂ）を参照して後述する。

ボタンＢ２６は、配信者端末２に表示される画面の各種設定（画面の大きさ等）を行う際に押下されるボタンである。

【００３３】

図２（Ｂ）には、視聴者Ａが、視聴者端末３を操作して、配信者Ｙに設定されたコンテンツＣの贈与を行う際、視聴者端末３に表示される操作画面の一例が示されている。

視聴者端末３に表示される操作画面は、表示領域Ｆ３１乃至Ｆ３６で構成される。

【００３４】

表示領域Ｆ３１には、視聴者Ａによる視聴の対象となっている（即ち、視聴者端末３に表示されている）配信者Ｙのユーザ名が表示される。

表示領域Ｆ３２には、配信者Ｙから配信中の、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４のいずれかの配信情報が表示される。

【００３５】

表示領域Ｆ３３には、「Ｍ１」乃至「Ｍ４」と夫々表示された、４種類のアイコンからなるボタンＢ３１が表示されている。

ボタンＢ３１は、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の夫々の視聴状態を示すとともに、視聴するライブ配信サイトＭを選択するためのボタンである。

図２（Ｂ）の例では、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の夫々の視聴状態を示す４種類のアイコンが表示されている。

ここで、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の視聴状態を示すための具体的手法は特に限定されない。例えば、配信情報が視聴中である場合と、視聴可能な状態である場合と、配信者Ｙによる配信が行われておらず視聴できない状態である場合とで、アイコンを色分けしてもよい。

これにより、視聴者Ａは、例えばライブ配信サイトＭ１は「視聴中」、ライブ配信サイトＭ２は「視聴可能」、ライブ配信サイトＭ３は「視聴不可」、といったように、ライブ配信サイト毎の視聴状態を容易に把握することができる。

【００３６】

また、これら４種類のアイコンは、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４で配信されている配信情報に切り替えるボタンＢ３１を構成する。例えば、ライブ配信サイトＭ４を示すアイコン（ボタンＢ３１）が押下されると、ライブ配信サイトＭ４で配信されている配信情報が表示領域Ｆ３２に表示される。これにより、視聴者Ａは、配信者Ｙが配信中のライブ配信サイトＭを容易に切り替えて視聴することができる。

【００３７】

表示領域Ｆ３４には、配信者Ｙ及び視聴者Ａの夫々がライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の夫々に投稿したコメントがリアルタイムで表示される。

【００３８】

表示領域Ｆ３５には、視聴者Ａにより購入された１以上のコンテンツＣの夫々を示すボタンＢ３２と、配信者Ｙにより設定されたコンテンツＣを購入できるＷｅｂサイト（以下「コンテンツ購入サイト」と呼ぶ）へのリンクボタンＢ３３とが表示される。

視聴者Ａは、表示領域Ｆ３５に表示された１以上の配信者Ｙのコンテンツ購入サイトで購入したコンテンツＣを配信者Ｙに贈与（プレゼント）することができる。ここで、図２（Ｂ）の例では、６種類のコンテンツＣが表示領域Ｆ３５に表示されているが、表示領域Ｆ３５は横方向にスクロール表示させることもできる。このため、表示領域Ｆ３５には、６種類以上のコンテンツＣを表示させることもできる。

なお、視聴者Ａが、表示領域Ｆ３５に表示された１以上の配信者Ｙのコンテンツ購入サイトで購入したコンテンツＣを配信者Ｙに贈与（プレゼント）するための具体的手法については、図３（Ｂ）を参照して後述する。

また、リンクボタンＢ３３が押下されたときに視聴者端末３に表示される、配信者Ｙのコンテンツ購入サイトコンテンツ購入サイトの具体的例については、図１３乃至図１８を参照して後述する。

【００３９】

表示領域Ｆ３６には、「フォローする」と表示されたボタンＢ３４と、「コメント」と表示されたボタンＢ３５と、設定ボタンＢ３６とが表示される。

【００４０】

ボタンＢ３４は、視聴者Ａが、表示領域Ｆ３２に表示されている配信情報の配信者Ｙをフォローする際に押下されるボタンである。視聴者Ａは、ボタンＢ３４を押下することで配信者Ｙの「フォロワー」となることや解除することができる。

【００４１】

ボタンＢ３５は、視聴者Ａが、配信者Ｙが配信中のライブ配信サイトＭにコメントを投稿する際に押下するボタンである。ボタンＢ３５が押下されると、視聴者端末３には、コメント送信ダイアログが表示される。なお、コメント送信ダイアログの詳細については、図９（Ｂ）を参照して後述する。

ボタンＢ３６は、視聴者端末３に表示される画面の各種設定を行う際に押下されるボタンである。

【００４２】

図３は、視聴者Ａが、視聴者端末３を操作して贈与を行う際、視聴者端末３に表示される操作画面の一例を示す図である。

【００４３】

図３（Ａ）には、視聴者Ａが、配信者Ｙに設定されたコンテンツＣを配信者Ｙに贈与（プレゼント）する際、視聴者端末３に表示される、配信者Ｙのコンテンツ購入サイトで購入されたコンテンツＣの選択画面（以下、「プレゼント選択ダイアログ」と呼ぶ）が示されている。

図３（Ａ）の例では、名称（例えば○○スター）が付された複数種類のコンテンツＣの夫々を示すアイコンが、選択可能に配列されている。

図３（Ｂ）の例では、８種類のコンテンツＣがプレゼント選択ダイアログに表示されているが、プレゼント選択ダイアログは縦方向にスクロール表示させることができる。このため、プレゼント選択ダイアログには、８種類以上のコンテンツＣを表示させることもできる。

視聴者Ａは、プレゼント選択ダイアログに表示された複数種類のコンテンツＣを示すアイコンのうち、いずれかを選択して押下する。すると、選択されたコンテンツＣを贈与するための具体的操作を受付ける画面（以下、「プレゼント詳細ダイアログ」と呼ぶ）が視聴者端末３に表示される。

【００４４】

図３（Ｂ）には、プレゼント詳細ダイアログの具体例が示されている。

図３（Ｂ）に示すように、プレゼント詳細ダイアログには、選択されたコンテンツＣについて、コンテンツＣを設定している配信者Ｙに贈与する数量を指定する欄と、コンテン

ツＣの贈与に添えてコンテンツＣを設定している配信者Ｙに贈るメッセージ（以下、「プレゼントメッセージ」と呼ぶ）を入力する欄とが表示される。なお、図３（Ｂ）の例では、配信者Ｙに贈与するコンテンツＣが３個であることが示されている。

視聴者Ａは、贈与するコンテンツＣの数量の指定と、プレゼントメッセージの入力が済むと、「プレゼントする」と表示されたボタンＢ３８を押下する。これにより、配信者Ｙに対するコンテンツＣの贈与と、プレゼントメッセージの送信とが実行される。なお、視聴者Ａは、プレゼント詳細ダイアログが表示された後、贈与をやめる、又は見送ることとした場合には、「キャンセル」と表示されたボタンＢ３９を押下することで、入力をキャンセルすることができる。

【００４５】

図３（Ｃ）には、配信者端末２に表示される、プレゼントメッセージと、これに対する配信者Ｙからのメッセージ（以下、「お礼メッセージ」と呼ぶ）の表示例が示されている。

図３（Ｃ）に示すように、配信者Ｙに設定されたコンテンツＣの贈与が行われると、コンテンツＣの贈与を行った視聴者Ａのプレゼントメッセージが配信者端末２に表示される。プレゼントメッセージには、贈与されたコンテンツＣの種類及び数量と、お礼メッセージを入力するためのコメント送信ダイアログを表示させるためのボタンＢ４０が表示される。ここで、ボタンＢ４０は、配信者Ｙによってお礼メッセージが入力されて送信された場合には表示が消える。即ち、お礼メッセージの送信は１回のみとなる。これにより、お礼メッセージの失念や二重送信を防ぐことができる。

また、視聴者Ａが配信者Ｙのコンテンツ Ｃを購入又は贈与することで、その旨が本サービスから視聴者Ａや配信者Ｙに通知された際、演出のためのアニメーションやサウンドエフェクトが、配信情報に重畳されて配信されるようにしてもよい。この演出は、プレゼントとして贈与や取得されたコンテンツＣの種類に応じて効果に差を設けてもよい。例えばプレゼントとして贈与されるコンテンツＣの単価が高いほど凝ったアニメーションやサウンドエフェクトが配信されてもよい。

これにより、視聴者Ａは、配信者Ｙに対するコンテンツＣの贈与や取得を積極的に行うようになることが期待できる。さらに、本サービスを利用することなく、夫々のライブ配信サイトを個別に利用（配信情報の配信又は視聴）している者に対しては、配信情報に重畳的に配信されるアニメーションやサウンドエフェクトが、本サービスによるものであることを認識させることができる。このため、本サービスの利用者の増加を図ることができる。

【００４６】

図４は、本サービスに含まれるマルチ配信サービスの概要を示すイメージ図である。

【００４７】

本サービスに含まれるマルチ配信サービスは、上述したように、配信者Ｙが、同一の配信情報を、１以上の種類のライブ配信サイトに一括配信することと、視聴者Ａが１以上の種類のライブ配信サイトＭのうち配信者Ｙが配信中の任意のサイトを容易に選択して視聴することとを可能とするサービスである。

例えば図４には、マルチ配信サービスの例として、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍｐ（ｐはｒ、ｎ、ｍとは独立した１以上の整数値）の夫々を管理する外部サーバ４－１乃至４－ｐの夫々が描画されている。また、配信者端末２を用いて配信情報を配信する配信者Ｙと、配信者Ｙにより配信された配信情報を、視聴者端末３を用いて視聴する視聴者Ａとが描画されている。

配信者Ｙは、管理サーバ１により管理される本サービスを利用することで、外部サーバ４－１乃至４－ｐの夫々により管理されているライブ配信サイトＭ１乃至Ｍｐに対し、同一の配信情報を一括配信することができ、夫々のライブ配信サイトＭ毎に開始と終了とを制御することで、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍｐの夫々の配信状態を制御することができる。

また、視聴者Ａは、管理サーバ１により管理される本サービスを利用することで、ライ

ブ配信サイトＭ１乃至Ｍｐに配信されている配信者Ｙの配信情報について、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍｐのうち任意のサイトを選択して視聴することができる。

【００４８】

また、マルチ配信サービスによれば、例えば以下に掲げるようなサービスを実現させることができる。

即ち、配信者Ｙは、本サービスにより提供される専用サイトにログインすることにより、１以上の種類のライブ配信サイトに共通する設定事項を一括で設定することができる。また、夫々のライブ配信サイト固有の設定事項についても、専用サイト内の所定のページで設定することができる。

また、配信者Ｙは、配信情報の配信を開始すると、複数のカメラ（例えば前カメラや背カメラ）を適宜切り替えて撮像することで、配信画面に変化を持たせることができる。

また、配信者Ｙは、１以上の種類のライブ配信サイトに対し、同一のコメントを一括で送信することができる。

また、視聴者Ａは、１以上の種類のライブ配信サイトに共通する設定事項を一括で設定することができる。また、夫々のライブ配信サイト固有の設定事項についても、専用サイト内の所定のページで設定することができる。

【００４９】

［システム構成］

次に、図１乃至図４に示す本サービスの提供を実現化させる情報処理システムの構成について説明する。

図５は、本発明の情報処理装置の一実施形態に係る管理サーバ１を含む、情報処理システムの構成を示す図である。

【００５０】

図５に示す情報処理システムは、管理サーバ１と、配信者端末２－１乃至２－ｎと、視聴者端末３－１乃至３－ｍと、外部サーバ４－１乃至４－ｐを含むように構成されている。

管理サーバ１、配信者端末２－１乃至２－ｎ、視聴者端末３－１乃至３－ｍ、及び外部サーバ４－１乃至４－ｐの夫々は、インターネット等の所定のネットワークＮを介して相互に接続されている。

【００５１】

（管理サーバ）

管理サーバ１は、サービス提供者Ｇにより管理される情報処理装置である。管理サーバ１は、配信者端末２－１乃至２－ｎ、視聴者端末３－１乃至３－ｍ、及び外部サーバ４－１乃至４－ｐと適宜通信をしながら、本サービスを実現するための各種処理を実行する。

【００５２】

具体的には例えば、管理サーバ１は、配信者端末２－１乃至２－ｎから送信されてくる配信情報を取得する。そして、管理サーバ１は、当該配信情報を、配信者Ｙにより選択された外部サーバ４－１乃至４－ｐの夫々に送信する。

これにより、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々は、配信者端末２－１乃至２－ｎの夫々を操作することにより、指定したライブ配信サイトＭ１乃至Ｍｐに対し、配信情報を一括で配信することができる。

【００５３】

また例えば、管理サーバ１は、外部サーバ４－１乃至４－ｐの夫々から送信されてくる配信情報を取得する。そして、管理サーバ１は、当該配信情報を、視聴者端末３－１乃至３－ｍの夫々に送信する。

これにより、視聴者Ａ１乃至Ａｍの夫々は、視聴者端末３－１乃至３－ｍの夫々を操作することにより、指定したライブ配信サイトＭ１乃至Ｍｐにおいて配信されている配信情報を視聴することができる。

【００５４】

また例えば、管理サーバ１は、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々に設定される１以上のコンテ

ンツＣを管理する。具体的には、管理サーバ１は、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々を一意に識別する情報（例えば配信者ＩＤ）にコンテンツＣを対応付けて管理する。

これにより、視聴者Ａは、応援したい配信者Ｙがいる場合に、当該配信者Ｙに対しコンテンツＣを贈与することができる。また、配信者Ｙは、自身を応援してくれる視聴者Ａからコンテンツ Ｃを贈与されることにより、利益を得ることができるので、その利益を原資として、新たな配信情報を配信することができる。さらに、本サービス内で配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々に設定されるコンテンツＣを流通させることができるので、サービス提供者Ｇは、配信者Ｙ、及び配信情報を視聴する者の夫々にとってより利便性の高いサービスを提供することが可能になる。

【００５５】

（配信者端末）

配信者端末２－１乃至２－ｎの夫々は、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々により操作される情報処理装置である。配信者端末２－１乃至２－ｎの夫々は、パーソナルコンピュータ、スマートフォン、タブレット等で構成される。

配信者端末２－１乃至２－ｎの夫々は、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々が本サービスを利用するために必要となる入力操作を受付けて、その入力内容を示す情報を管理サーバ１に送信する。また、配信者端末２－１乃至２－ｎの夫々は、自ら、又は管理サーバ１による制御の下に、管理サーバ１から送信されてきた配信情報等を表示する。

【００５６】

配信者端末２－１乃至２－ｎの夫々には、本サービスの提供を受けるための専用アプリがインストールされている。なお、以下、断りのない限り、「配信者Ｙが配信者端末２を操作する」と表現している場合、それは、配信者Ｙが、配信者端末２にインストールされた専用アプリを起動して各種操作を行うことを意味するものとする。

【００５７】

（視聴者端末）

視聴者端末３－１乃至３－ｍの夫々は、被認証者Ａ１乃至Ａｍの夫々により操作される情報処理装置である。視聴者端末３－１乃至３－ｍの夫々は、パーソナルコンピュータ、スマートフォン、タブレット等で構成される。

視聴者端末３－１乃至３－ｍの夫々は、視聴者Ａ１乃至Ａｍの夫々が本サービスを利用するために必要となる入力操作を受付けて、その入力内容を示す情報を管理サーバ１に送信する。また、視聴者端末３－１乃至３－ｍの夫々は、自ら、又は管理サーバ１による制御の下に、管理サーバ１から送信されてきた配信情報等を表示する。

【００５８】

視聴者端末３－１乃至３－ｍの夫々には、本サービスの提供を受けるための専用アプリがインストールされている。なお、以下、断りのない限り、「視聴者Ａが視聴者端末３を操作する」と表現している場合、それは、視聴者Ａが、視聴者端末３にインストールされた専用アプリを起動して各種操作を行うことを意味するものとする。

【００５９】

（外部サーバ）

外部サーバ４－１乃至４－ｐの夫々は、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍｐの夫々を別々に管理するサイト管理者Ｒ１乃至Ｒｐの夫々により管理される外部のサーバである。

以下、サイト管理者Ｒ１乃至Ｒｐを区別せずに「サイト管理者Ｒ」と呼んでいる場合、外部サーバ４－１乃至４－ｐ、及びライブ配信サイトＭ１乃至Ｍｐの夫々をまとめて、「外部サーバ４」、及び「ライブ配信サイトＭ」の夫々と呼ぶ。

【００６０】

管理サーバ１を含む情報処理システムが以上のような構成を有することにより、サービス提供者Ｇは、配信者Ｙ、及び視聴者Ａの夫々にとって利便性の高いサービスを提供することができる。

【００６１】

［ハードウェア構成］

次に、図５の情報処理システムを構成する管理サーバ１のハードウェア構成について説明する。

図６は、図５の情報処理システムを構成する管理サーバ１のハードウェア構成の一例を示すブロック図である。

【００６２】

管理サーバ１は、ＣＰＵ（Ｃｅｎｔｒａｌ　Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ　Ｕｎｉｔ）１１と、ＲＯＭ（Ｒｅａｄ　Ｏｎｌｙ　Ｍｅｍｏｒｙ）１２と、ＲＡＭ（Ｒａｎｄｏｍ　Ａｃｃｅｓｓ　Ｍｅｍｏｙ）１３と、バス１４と、入出力インターフェース１５と、出力部１６と、入力部１７と、記憶部１８と、通信部１９と、ドライブ２０と、を備えている。

【００６３】

ＣＰＵ１１は、ＲＯＭ１２に記録されているプログラム、又は記憶部１８からＲＡＭ１３にロードされたプログラムに従って各種の処理を実行する。

ＲＡＭ１３には、ＣＰＵ１１が各種の処理を実行する上において必要なデータ等も適宜記憶される。

【００６４】

ＣＰＵ１１、ＲＯＭ１２及びＲＡＭ１３は、バス１４を介して相互に接続されている。このバス１４にはまた、入出力インターフェース１５も接続されている。入出力インターフェース１５には、出力部１６、入力部１７、記憶部１８、通信部１９及びドライブ２０が接続されている。

【００６５】

出力部１６は、液晶等のディスプレイにより構成され、各種画像を表示する。

入力部１７は、各種ハードウェアボタン等で構成され、操作者の指示操作に応じて各種情報を入力する。

【００６６】

記憶部１８は、ＤＲＡＭ（Ｄｙｎａｍｉｃ　Ｒａｎｄｏｍ　Ａｃｃｅｓｓ　Ｍｅｍｏｒｙ）等で構成され、各種データを記憶する。

通信部１９は、インターネットを含むネットワークＮを介して他の装置（配信者端末２、視聴者端末３、及び外部サーバ４等）との間で行う通信を制御する。

【００６７】

ドライブ２０は、必要に応じて設けられる。ドライブ２０には、磁気ディスク、光ディスク、光磁気ディスク、或いは半導体メモリ等よりなる、リムーバブルメディア３０が適宜装着される。ドライブ２０によってリムーバブルメディア３０から読み出されたプログラムは、必要に応じて記憶部１８にインストールされる。また、リムーバブルメディア３０は、記憶部１８に記憶されている各種データも、記憶部１８と同様に記憶することができる。

【００６８】

なお、図示はしないが、図５の情報処理システムのうち、配信者端末２、及び視聴者端末３も、図８に示すハードウェア構成を有している。ただし、配信者端末２、及び視聴者端末３がスマートフォンやタブレットで構成される場合には、出力部１６及び入力部１７として、タッチパネルを有している。

【００６９】

このような図６の管理サーバ１の各種ハードウェアと各種ソフトウェアとの協働により、管理サーバ１において、配信支援処理、視聴支援処理、及びコンテンツ管理処理等の各種処理の実行が可能になる。その結果、サービス提供者Ｇは、配信者Ｙ及び視聴者Ａの夫々に対し、上述の本サービスを提供することができる。

「配信支援処理」とは、本サービスの利用者である配信者Ｙによる配信情報の配信を支援する処理をいう。

「視聴支援処理」とは、本サービスの利用者である視聴者Ａによる配信情報の視聴を支援する処理をいう。

「コンテンツ管理処理」とは、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々に設定される１以上のコンテ

ンツＣを管理する処理をいう。
以下、配信支援処理、視聴支援処理、及びコンテンツ管理処理を実行するための機能構成について説明する。
【００７０】
［機能的構成］
図７は、図６の管理サーバ１を含む情報処理システムの機能的構成のうち、配信支援処理、視聴支援処理、及びコンテンツ管理処理を実行するための機能的構成を示す機能ブロック図である。
【００７１】
図７に示すように、管理サーバ１のＣＰＵ１１においては、配信支援処理の実行が制御される場合、配信支援部１０１が機能する。また、視聴支援処理の実行が制御される場合、視聴支援部１０２が機能する。また、コンテンツ管理処理の実行が制御される場合、コンテンツ管理部１０３が機能する。
【００７２】
（配信支援処理）
配信支援部１０１では、指定受付部１１１と、設定受付部１１２と、撮像制御部１１３と、表示制御部１１４と、受付部１１５と、配信制御部１１６とが機能する。
【００７３】
指定受付部１１１は、配信情報の配信に用いられるＷｅｂサイトとして指定された１以上のライブ配信サイトＭを、配信指定サイトとして受付ける。
具体的には例えば、指定受付部１１１は、配信情報の配信に用いられるＷｅｂサイトとしてライブ配信サイトＭ１及びＭ２が指定された場合には、これらを配信指定サイトとして受付ける。
【００７４】
設定受付部１１２は、指定サイトに共通する所定の設定事項を受付ける。
具体的には例えば、設定受付部１１２は、配信指定サイトとして受付けられたライブ配信サイトＭ１及びＭ２共通する所定の設定事項を受付ける。
【００７５】
撮像制御部１１３は、所定タイミングにおける配信情報を撮像する制御を実行する。
具体的には例えば、撮像制御部１１３は、配信情報のサムネイル画像を撮像する制御を実行する。
【００７６】
表示制御部１１４は、視聴者端末３に入力されたコメントを、配信者端末２に表示させる制御を実行する。
具体的には例えば、表示制御部１１４は、プレゼント詳細ダイアログに入力されたプレゼントメッセージを、配信者端末２に表示させる制御を実行する。
【００７７】
受付部１１５は、配信者Ｙの配信者端末２に対する操作に基づいて、配信者Ｙのコメントが入力された場合に、これを受付ける。
具体的には例えば、受付部１１５は、後述する図９（Ｂ）に示すコメント送信ダイアログにお礼メッセージが入力された場合に、これを受付ける。
【００７８】
配信制御部１１６は、送信されてきた配信情報を取得し、当該配信情報を、配信指定サイトを介してリアルタイムで配信する制御を実行する。
具体的には例えば、配信指定サイトがライブ配信サイトＭ１及びＭ２である場合には、配信制御部１１６は、配信者端末２から送信されてきた配信情報を取得する。そして、配信制御部１１６は、当該配信情報を、ライブ配信サイトＭ１及びＭ２を介してリアルタイムで配信する制御を実行する。
【００７９】
配信支援部１０１が以上のように機能することにより、サービス提供者Ｇは、配信者Ｙ

に対し、配信者Ｙにとって利便性の高いサービスを提供することが可能となる。
【００８０】
（視聴支援処理）
視聴支援部１０２では、提示部１２１と、受付部１２２と、表示制御部１２３とが機能する。
【００８１】
提示部１２１は、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々を示す情報を視聴者Ａ１乃至Ａｍの夫々に提示する。
具体的には例えば、提示部１２１は、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々を示す情報として、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々の配信者ユーザ名、配信中の配信情報等からなる配信者リストを、視聴者端末３－１乃至３－ｍの夫々に表示させる制御を実行する。
【００８２】
受付部１２２は、配信情報の視聴に用いられるＷｅｂサイトとして指定された１以上のライブ配信サイトＭを、視聴指定サイトとして受付ける。
具体的には例えば、受付部１２２は、配信情報の視聴に用いられるＷｅｂサイトとしてライブ配信サイトＭ１及びＭ２が指定された場合には、これらを視聴指定サイトとして受付ける。
【００８３】
また、受付部１２２は、配信者Ｙに対する贈与（プレゼント）の対象としてのコンテンツＣが指定された場合に、これを受付ける。
具体的には例えば、受付部１２２は、図３（Ａ）に示すプレゼント選択ダイアログ、及び図３（Ｂ）に示すプレゼント詳細ダイアログへの入力操作により、贈与の対象となるコンテンツＣの種類と数量とが指定された場合に、これを受付ける。
【００８４】
また、受付部１２２は、配信者Ｙに対する贈与（プレゼント）の対象としてのコンテンツＣの指定に併せて、視聴者Ａからのプレゼントメッセージが入力された場合に、これを受付ける。
具体的には例えば、受付部１２２は、図３（Ｂ）に示すプレゼント詳細ダイアログへの入力操作により、プレゼントメッセージが入力された場合に、これを受付ける。
【００８５】
表示制御部１２３は、配信者端末２に入力されたコメントを、視聴者端末３に表示させる制御を実行する。
具体的には例えば、表示制御部１２３は、後述する図９（Ａ）に示すコメント送信ダイアログに入力されたお礼メッセージを、視聴者端末３に表示させる制御を実行する。
【００８６】
視聴支援部１０２が以上のように機能することにより、サービス提供者Ｇは、視聴者Ａに対し、視聴者Ａにとって利便性の高いサービスを提供することが可能となる。
【００８７】
（コンテンツ管理処理）
コンテンツ管理部１０３では、対応付部１３１と、提供制御部１３２と、受付部１３３と、実行部１３４とが機能する。
コンテンツ管理部１０３による管理の対象となるコンテンツＣに関する情報は、コンテンツＤＢ１８３に記憶されている。
【００８８】
対応付部１３１は、配信者Ｙ毎に設定されたコンテンツＣの夫々を、設定された配信者Ｙの夫々と対応付けて管理する。
具体的には例えば、対応付部１３１は、配信者Ｙを一意に識別する配信者ＩＤに１以上のコンテンツＣを対応付けて、配信者ＤＢ１８１に記憶させて管理する。
【００８９】
また、対応付部１３１は、所定条件が満たされたことで、配信者Ｙ毎に設定されたコン

テンツＣが、視聴者Ａに提供された場合、当該コンテンツＣの提供を受けた視聴者Ａに、当該コンテンツＣを対応付けて管理する。
具体的には例えば、対応付部１３１は、視聴者Ａを一意に識別する視聴者ＩＤに１以上のコンテンツＣを対応付けて、視聴者ＤＢ１８２に記憶させて管理する。
【００９０】
提供制御部１３２は、所定条件が満たされた場合、所定配信者Ｙｔに設定されたコンテンツＣを視聴者Ａに提供する。
具体的には例えば、提供制御部１３２は、配信者Ｙに設定されたコンテンツＣを視聴者Ａが購入したという条件が満たされたと判定した場合、配信者Ｙに設定されたコンテンツＣを視聴者Ａに提供する制御を実行する。
【００９１】
受付部１３３は、提供制御部１３２により提供されたコンテンツＣについて、所定配信者Ｙｔを贈与対象者として、視聴者Ａから当該贈与対象者に対する贈与の希望がなされた場合、それを贈与希望として受付ける。
具体的には、受付部１３３は、視聴者Ａにより購入されたコンテンツＣついて、所定配信者Ｙｔを贈与対象者とする希望がなされると、当該希望は、視聴者Ａによる贈与希望として受付けられる。
【００９２】
実行部１３４は、贈与希望の内容に基づいて、贈与対象者に対して所定の処理を実行する。
具体的には、図３（Ａ）に示すプレゼント選択ダイアログ、及び図３（Ｂ）に示すプレゼント詳細ダイアログへの入力操作が受付けられた場合、その内容が「贈与希望の内容」となる。実行部１３４は、この「贈与希望の内容」に基づいて、例えば所定配信者Ｙｔに対するコンテンツＣの提供が実行される。
【００９３】
以上の機能的構成を有する管理サーバ１により、配信支援処理、視聴支援処理、及びコンテンツ管理処理等の各処理を実行することができる。
これにより、サービス提供者Ｇは、配信者Ｙ及び視聴者Ａに対し、配信者Ｙ及び視聴者Ａにとって利便性の高いサービスを提供することが可能となる。
【００９４】
［処理の流れ］
次に、図７の機能的構成を有する管理サーバ１を含む、情報処理システムによる処理の流れについて説明する。
図８は、図７の機能的構成を有する管理サーバ１を含む、情報処理システムによる処理の流れを示すアローチャートである。
【００９５】
ステップＳ２－１において、配信者端末２は、本サービスにログインする。ここで、ログイン画面が表示される前に、スプラッシュアニメーションが表示されてもよい。
ステップＳ２－２において、配信者端末２は、配信情報の配信に用いられるＷｅｂサイトとして、１以上のライブ配信サイトＭを、配信指定サイトとして指定する。
すると、ステップＳ１－１において、管理サーバ１は、配信指定サイトの指定を受付ける。
【００９６】
ステップＳ２－３において、配信者端末２は、１以上の配信指定サイトに共通する所定の設定事項についての入力があった場合、入力された情報を管理サーバ１に送信する。
すると、ステップＳ１－２において、管理サーバ１は、設定事項について入力された情報を受付ける。
【００９７】
ステップＳ２－４において、配信者端末２（又はこれと接続された図示しないカメラ）は、配信者Ｙによる配信動画像の撮像を開始する。

すると、ステップＳ１－３において、管理サーバ１は、配信者端末２（又はこれと接続された図示しないカメラ）により撮像された画像のデータを配信情報としてリアルタイムで取得する。

【００９８】

ステップＳ１－４において、管理サーバ１は、視聴者端末３に、配信者リストを表示させる制御を実行する。

すると、ステップＳ３－１において、視聴者端末３は、配信者リストを表示する。

ステップＳ３－２において、視聴者端末３は、配信者リストに掲載された配信者Ｙの中から、配信情報を視聴したい配信者Ｙを指定する。

すると、ステップＳ１－５において、管理サーバ１は、配信者Ｙの指定を受付ける。

【００９９】

ステップＳ１－６において、管理サーバ１は、指定された配信者Ｙの配信情報の配信を開始する。

すると、ステップＳ３－３において、視聴者端末３は、配信された配信情報の表示を開始する。

【０１００】

ステップＳ３－４において、視聴者端末３は、配信者Ｙに贈与されるコンテンツＣの種類と数量とを指定する。以下、このような指定を「プレゼント指定」と呼ぶ。

すると、ステップＳ１－７において、管理サーバ１は、プレゼント指定を受付けて管理する。

ステップＳ３－５において、視聴者端末３は、配信者Ｙに贈与されるコンテンツＣの指定とともに、プレゼントメッセージが入力された場合、これを管理サーバ１に送信する。

すると、ステップＳ１－７において、管理サーバ１は、プレゼントメッセージを取得する。

ステップＳ１－９において、管理サーバ１は、視聴者端末３に入力されたコメントを、配信者端末２に表示させる制御を実行する。

すると、ステップＳ２－５において、配信者端末２は、視聴者端末３に入力されたコメント（例えばプレゼントメッセージ）を、配信者端末２に表示させる制御を実行する。

【０１０１】

ステップＳ２－６において、配信者端末２は、入力されたコメント（例えばお礼メッセージ）を、管理サーバ１に送信する。

すると、ステップＳ１－１０において、管理サーバ１は、配信者端末２から送信されてきたコメントを取得する。

ステップＳ１－１１において、管理サーバ１は、入力されたコメント（例えばお礼メッセージ）を、視聴者端末３に送信する。

すると、ステップＳ３－６において、視聴者端末３は、送信されてきたコメントを取得して表示する。

【０１０２】

［ＧＵＩ］

次に、図９乃至図１８を参照して、配信者端末２及び視聴者端末３の夫々に表示されるＧＵＩ（Ｇｒａｐｈｉｃａｌ　Ｕｓｅｒ　Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ）の具体例について説明する。

図９は、配信者端末２に表示されるＧＵＩの具体例を示す図である。

【０１０３】

図９（Ａ）には、配信者端末２に表示される、初期設定画面の一例が示されている。

図９（Ａ）の初期設定画面には、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の夫々を示す４種類のアイコンが横一列に並んでいる。これら４種類のアイコンは、対応するライブ配信サイトＭの設定が完了している場合にはアクティブ表示され、設定が完了していない場合には非アクティブ表示される。

例えば、過去に１度も配信情報を配信した実績がない場合には、ライブ配信サイトＭを

示すアイコンは、全て非アクティブ表示され、「設定を完了してＬｉｖｅスタート！」と表示されたボタンＢ２９も非アクティブ表示される。
　これに対し、過去に配信情報を配信した実績がある場合には、過去の設定が反映される。この場合、設定済みのライブ配信サイトＭはアクティブ表示され、「設定を完了してＬｉｖｅスタート！」と表示されたボタンＢ２９もアクティブ表示される。
【０１０４】
　ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の夫々を示す４種類のアイコンの夫々は、ライブ配信サイトＭ毎の設定画面を表示させるためのボタンＢ２７として夫々機能する。このため、例えば設定が完了していないライブ配信サイトＭ１を示すアイコンが押下されると、ライブ配信サイトＭ１の設定を行うための画面（図示せず）が表示される。
【０１０５】
　ボタンＢ２８は、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４に共通する初期設定を行うための画面（図示せず）を表示させるためのボタンである。ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４に共通する初期設定を行うことができるので、配信者Ｙは、同じ入力操作を繰り返し行うような面倒な思いをしないで済むというメリットを享受することができる。
【０１０６】
　図９（Ｂ）には、上述のコメント送信ダイアログの例が示されている。
　図９（Ｂ）に例示するコメント送信ダイアログは、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の夫々を示す４種類のアイコンからなるボタンＢ４１と、ボタンＢ４２と、ボタンＢ４３とで構成される。
　ボタンＢ４１は、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４の夫々の状態を一見して把握できるように色分けがなされている。具体的には例えば、以下の（１）乃至（３）の状態のアイコンの夫々について色分けを行うことができる。即ち、（１）既に配信情報の配信先であり、かつ、コメントの送信先として指定されている状態を示すアイコン、（２）既に配信情報の配信先であり、コメントの送信先とすることができるが、今のところコメントを送信先として指定されていない状態を示すアイコン、及び（３）配信情報の配信が行われていない状態を示すアイコンで色分けを行うことができる。
　ボタンＢ４２は、定型文を一覧表示（図示せず）させるボタンである。
　ボタンＢ４３は、コメントを入力する欄と、入力したコメントを送信する際に押下されるボタンである。
【０１０７】
　図１０は、視聴者端末３に表示される配信者リストの具体例を示す図である。
【０１０８】
　図１０（Ａ）には、配信情報をリアルタイムで配信中の配信者Ｙを一覧化した配信者リストの具体例が示されている。
　視聴者端末３に表示される配信者リストは、表示領域Ｆ３７及びＦ３８で構成される。
【０１０９】
　表示領域Ｆ３７には、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々を示す情報として、配信者Ｙ１乃至Ｙｎの夫々の配信者ユーザ名、配信中の配信情報等が表示される。図１０（Ａ）の例では、配信者Ｙを示すアイコン、配信者ユーザ名、配信者ＩＤ、配信者Ｙの紹介文とともに、配信の対象となっているライブ配信サイトを示すアイコンが表示されている。
　これにより、例えば１番上に表示された配信者Ｙは、ライブ配信サイトＭ１乃至Ｍ４に配信情報を配信しており、上から２番目に表示された配信者Ｙは、ライブ配信サイトＭ１及びＭ４に配信情報を配信していることを一見して把握することができる。
　配信者リストに表示された配信者Ｙを示すアイコンを押下すると、当該配信者により配信されている配信画像を表示させることができる。
　なお、配信情報をリアルタイムで配信中の配信者Ｙを一覧化した配信者リストの他の特徴は、図１０（Ａ）に示すとおりである。
【０１１０】
　表示領域Ｆ３８には、表示領域Ｆ３７に表示させる内容を選択するためのボタンが表示

されている。
「ライブ」と表示されたボタンが押下されると、表示領域Ｆ３７には、配信情報をリアルタイムで配信中の配信者リストが表示される。
「ランキング」と表示されたボタンが押下されると、表示領域Ｆ３７には、多くの視聴者Ａによる贈与（プレゼント）の対象とされている１以上の配信者Ｙがランキング表示される。
なお、図１０（Ａ）には、表示領域Ｆ３８の「ライブ」と表示されたボタンが押下されたときに、表示領域Ｆ３７に表示される配信者リストの例が示されている。また、後述する図１０（Ｂ）には、表示領域Ｆ３８の「ランキング」と表示されたボタンが押下されたときに、表示領域Ｆ３７に表示される配信者リストの例が示されている。

【０１１１】
上述したように、図１０（Ｂ）には、多くの視聴者Ａによる贈与（プレゼント）の対象とされている１以上の配信者Ｙをランキング表示させた配信者リストの具体例が示されている。
図１０（Ｂ）の例では、本サービスにおいて配信者Ｙ毎に設定されるコンテンツＣの贈与（プレゼント）の累積が、「スター」の単位で示されている。例えば１番上に表示された配信者Ｙが視聴者Ａから贈与（プレゼント）されたコンテンツＣは、「１００，０００スター」であり、上から２番目に表示された配信者Ｙが視聴者Ａから贈与（プレゼント）されたコンテンツＣは、「９０，０００スター」であることがわかる。これにより、視聴者Ａから多くのコンテンツＣが贈与（プレゼント）されている配信者Ｙに関する情報を一見して把握することができる。
配信者リストに表示された配信者Ｙを示すアイコンを押下すると、当該配信者が配信中であれば配信されている配信画像を表示させ、当該配信者が配信中でなければ後述の図１１に示す配信者Ｙのユーザ情報ポップアップ画面を表示させることができる。
なお、配信者Ｙをランキング表示された配信者リストの他の特徴は、図１０（Ｂ）に示すとおりである。

【０１１２】
また、図示はしないが、表示領域Ｆ３８に示す「検索」と表示されたボタンが押下されると、配信者Ｙをキーワード検索することができる。また、「マイページ」と表示されたボタンが押下されると、視聴者Ａについての各種設定画面等が表示される。

【０１１３】
図１１は、視聴者端末３に表示されるポップアップ画面の具体例を示す図である。

【０１１４】
図１１（Ａ）には、視聴者Ａが未ログイン時に、図１０の配信者一覧の中から１の配信者Ｙが選択された場合に、視聴者端末３に表示されるポップアップ画面の一例が示されている。
図１１（Ａ）のポップアップ画面には、配信者Ｙを示すアイコンと、配信者ユーザ名と、配信者ＩＤと、配信者Ｙの紹介文とともに、「視聴する」と表示されたボタンＢ４４と、「ログイン」と表示されたボタンＢ４５とが表示される。
ここで、ボタンＢ４４が押下されると、ポップアップ画面に表示された配信者Ｙの配信情報が視聴者端末３に表示される。
また、ボタンＢ４５が押下されると、視聴者Ａは、本サービスにログインすることができるので、配信者Ｙに対しコンテンツＣを贈与することができるようになる。

【０１１５】
図１１（Ｂ）には、図１１（Ａ）のポップアップ画面においてログイン操作がなされた場合や、ログイン済みでユーザ情報ポップアップ画面を表示した場合に、視聴者端末３に表示されるポップアップ画面の一例が示されている。
図１１（Ｂ）のポップアップ画面には、配信者Ｙを示すアイコンと、配信者ユーザ名と、配信者ＩＤと、配信者Ｙの紹介文とともに、視聴者Ａが配信者Ｙから購入済みのコンテンツＣを示すアイコンが表示される。また、「視聴する」と表示されたボタンＢ５０と、

「フォローする」と表示されたボタンＢ５２と、コンテンツ購入サイトへのリンクボタンＢ５２とが表示される。
ここで、コンテンツＣを示すアイコンが押下されると、プレゼント選択ダイアログを表示される。これにより、視聴者Ａは、配信者Ｙにコンテンツ Ｃを贈与することができる。
また、ボタンＢ５０が押下されると、ポップアップ画面に表示された配信者Ｙの配信情報が視聴者端末３に表示される。
また、ボタンＢ５１が押下されると、視聴者Ａは、配信者Ｙの「フォロワー」となることや解除することができるようになる。
また、ボタンＢ５２が押下されると、コンテンツ購入サイトが視聴者端末３に表示される。これにより、視聴者Ａは、容易に配信者Ｙにより設定されるコンテンツＣを購入することができる。

【０１１６】
図１２は、視聴者端末３に表示される、配信者Ｙの詳細情報を示す画面の具体例を示す図である。

【０１１７】
本サービスを利用する視聴者Ａは、配信者Ｙの詳細情報を閲覧することができる。配信者Ｙの詳細情報は、所定の操作に基づいて、視聴者端末３に表示させることができる。
配信者Ｙの詳細情報は、図１２に示すように、表示領域Ｆ３９乃至Ｆ４２で構成される。

【０１１８】
表示領域Ｆ３９には、配信者Ｙを示すアイコン、配信者ユーザ名、配信者ＩＤ、配信者Ｙの紹介文とともに、「フォロー」と表示されたボタンＢ４６と、「通知」と表示されたボタンＢ４７と、「プレゼント」と表示されたボタンＢ４８とが表示されている。
ボタンＢ４６は、押下する毎に「フォロー」と「アンフォロー」とが切り替わる。「フォロー」と表示されている場合には、視聴者Ａは、配信者Ｙの「フォロワー」となることができる。
ボタンＢ４７は、押下する毎に「通知」と「非通知」とが切り替わる。「通知」と表示されている場合には、配信者Ｙが配信を開始するなどの配信者Ｙによる各種通知が行われる。
ボタンＢ４８が押下されると、未ログインであればログイン画面が表示され、ログイン済みであればプレゼント選択ダイアログが表示される。これにより、ログイン済みの視聴者Ａは、配信者Ｙにコンテンツ Ｃを贈与することができる。

【０１１９】
表示領域Ｆ４０には、応援メッセージとして、配信者Ｙに対する１以上の視聴者Ａからのプレゼントメッセージの履歴が表示される。この履歴には、贈与されたコンテンツＣの内容を表示させることもできる。

【０１２０】
表示領域Ｆ４１には、配信者Ｙによる、各社ＳＮＳへの投稿履歴と、フリースペースが表示される。視聴者Ａは、表示領域Ｆ４１に表示された内容を閲覧することにより、配信者Ｙが利用する各社ＳＮＳにおいて、どのような投稿を行っているのかを確認することができる。これにより、視聴者Ａは、配信者Ｙの「人となり」を把握することができる。

【０１２１】
表示領域Ｆ４２には、「ＳＮＳ１」と表示されたボタンと、「ＳＮＳ２」と表示されたボタンと、「ＳＮＳ３」と表示されたボタンと、コンテンツ購入サイトへのリンクボタンと、「ＯｎｅＨｅａｒｔ」と表示されたボタンとが表示されている。
「ＳＮＳ１」と表示されたボタン、「ＳＮＳ２」と表示されたボタン、及び「ＳＮＳ３」と表示されたボタンの夫々は、配信者Ｙが利用する各社ＳＮＳ（ＳＮＳ１乃至ＳＮＳ３）における、配信者Ｙのプロフィールに関する情報を表示させるボタンである。視聴者Ａは、このボタンを押下して、配信者Ｙのプロフィールに関する情報を閲覧することにより、配信者Ｙの「人となり」をより具体的に把握することができる。

「ＯｎｅＨｅａｒｔ」と表示されたボタンが押下されると、配信中の配信情報が表示される。

【０１２２】

図１３乃至図１９は、コンテンツ購入サイトの具体例を示す図である。

【０１２３】

図１３には、コンテンツ購入サイトのうち、配信者Ｙにより設定されたコンテンツＣを購入する際に、視聴者端末３に表示される画面（以下、「コンテンツ購入ページ」と呼ぶ）の具体例が示されている。

図１３に示すように、コンテンツ購入ページは、表示領域Ｆ４３乃至Ｆ４５で構成される。

【０１２４】

表示領域Ｆ４３には、対象となる配信者Ｙの配信者ユーザ名と、配信者ＩＤと、視聴者Ａが購入するコンテンツＣの種類と数量とを指定するための入力欄が表示されている。

表示領域Ｆ４４には、表示領域Ｆ４３で指定されたコンテンツＣについての単価、数量、及び金額の小計が示されている。

図１３の例では、単価１０００円のコンテンツＣ（１０スター）が１０個、単価５０００円のコンテンツＣ（５０スター）が１個で、合計１５０００円のコンテンツＣを購入するケースが示されている。

表示領域Ｆ４５には、「カートに入れる」と表示されたボタンが表示されている。このボタンが押下されると、決済処理が実行される。

【０１２５】

図１４には、コンテンツ購入サイトのうち、コンテンツＣを購入するとともに、同額のコンテンツＣ同士の交換（以下、「コンコン交換」と呼ぶ）を行う際に、視聴者端末３に表示される画面（以下、「コンテンツ購入・交換ページ」と呼ぶ）の具体例が示されている。

【０１２６】

ここで、本サービスで提供される「コンコン交換」について説明する。コンコン交換とは、視聴者Ａが、所定の配信者Ｙにより設定されたコンテンツＣを取得するために利用できる手法の１つである。コンコン交換によれば、視聴者Ａは、贈与されたコンテンツＣと、新たに取得したい、配信者Ｙにより設定された同額のコンテンツＣとを交換することができる。例えば、視聴者Ａは、視聴者Ａ２から１００スターのコンテンツＣを贈与されていた場合には、当該コンテンツＣと、配信者Ｙに設定された同額（１００スター）のコンテンツＣとを交換することで、配信者Ｙに設定された１００スターのコンテンツＣを新たに取得することができる。

【０１２７】

即ち、配信者Ｙ１に設定されたコンテンツＣを取得した視聴者Ａは、当該コンテンツＣを配信者Ｙ１に贈与する。これにより、配信者Ｙ１は、贈与されたコンテンツＣに対応付けられたポイントを取得することができる。

また、視聴者Ａからコンテンツ Ｃをプレゼントされた配信者Ｙ１は、取得したコンテンツＣ（即ち、配信者Ｙ１に設定されたコンテンツＣ）と、新たに取得したいコンテンツＣ（即ち、配信者Ｙ２に設定されたコンテンツＣ）とを交換することができる。

【０１２８】

コンコン交換の具体例については、図１４乃至図１６を参照して後述する。

【０１２９】

図１４に示すように、コンテンツ購入・交換ページは、表示領域Ｆ４６乃至Ｆ４９で構成される。

【０１３０】

表示領域Ｆ４６には、対象となる配信者Ｙの配信者ユーザ名と、配信者ＩＤと、視聴者Ａが購入するコンテンツＣの種類と数量とを指定するための入力欄が表示されている。

表示領域Ｆ４７には、コンコン交換の対象となり得る、視聴者Ａが視聴者Ａ２乃至Ａｍ

のいずれかから贈与されたコンテンツＣの内容と、交換の対象として指定するための入力欄とが表示されている。

表示領域Ｆ４８には、表示領域Ｆ４６及びＦ４７で指定されたコンテンツＣについての単価、数量、及び金額の小計が示されている。

【０１３１】

図１４の例では、新規購入分として、単価１０００円のコンテンツＣ（１０スター）が１０個、単価５０００円のコンテンツＣ（５０スター）が１個で、合計１５０００円のコンテンツＣを購入し、コンコン交換分として、視聴者Ａ１が視聴者Ａ２乃至Ａｍのいずれかから贈与された単価１０００円のコンテンツＣを１０個交換するケースが示されている。この場合、図１４に示すように、差し引きの小計が５０００円となる。

このように、新規購入とコンコン交換とを組み合わせることができるので、視聴者Ａは、自身が贈与されたコンテンツＣをコンコン交換の対象とすることができる。その結果、視聴者Ａは、所望の配信者Ｙが設定するコンテンツＣを効率良く取得することができる。

【０１３２】

表示領域Ｆ４５には、「カートに入れる」と表示されたボタンが表示されている。このボタンが押下されると、決済処理が実行される。

ここで、コンコン交換や決済処理が行われる際や決済処理が完了した際、演出のためのアニメーションやサウンドエフェクトを配信できるようにしてもよい。この演出は、決済金額に応じて効果に差を設けてもよい。これにより、視聴者Ａが、配信者Ｙに対する贈与を積極的に行うようになることが期待できる。

【０１３３】

図１５には、図１４に示すコンコン交換を行う際に表示されるダイアログ（以下、「コンコンダイアログ」と呼ぶ）の具体例が示されている。

図１５に示すように、コンコンダイアログには、コンコン交換のシミュレーション結果と、「コンコン交換しますか？」というメッセージと、「キャンセル」と表示されたボタンと、「交換する」と表示されたボタンとが表示される。

【０１３４】

具体的には、コンコンダイアログには、視聴者Ａが交換対象として提示したコンテンツＣ（コンコン交換前のコンテンツＣ）と、コンコン交換により視聴者Ａが新たに取得することとなるコンテンツＣ（コンコン交換後のコンテンツＣ）の内容が表示される。

視聴者Ａは、コンコン交換のシミュレーション結果を確認して、実際にコンコン交換を行う場合には、「交換する」と表示されたボタンを押下し、コンコン交換を行わない場合には、「キャンセル」と表示されたボタンを押下する。

このように、コンコンダイアログには、コンコン交換のシミュレーション結果が表示されるので、視聴者Ａは、コンコン交換の有無を容易に判断することができる。

【０１３５】

図１６には、コンコン交換のみを行う際に表示される画面（以下、「コンコン交換ページ」と呼ぶ）の具体例が示されている。

図１６に示すように、コンコン交換ページは、表示領域Ｆ５０乃至Ｆ５３で構成される。

【０１３６】

表示領域Ｆ５０には、対象となる配信者Ｙの配信者ユーザ名と、配信者ＩＤと、視聴者Ａがコンコン交換により取得を希望するコンテンツＣの種類と数量とを指定するための入力欄が表示されている。

表示領域Ｆ５１には、コンコン交換の対象となり得る、視聴者Ａ１が視聴者Ａ２乃至Ａｍのいずれかから贈与されたコンテンツＣの内容と、交換の対象として指定するための入力欄とが表示されている。

表示領域Ｆ５２には、表示領域Ｆ５０及びＦ５１で指定されたコンテンツＣについての単価、数量、及び金額の小計が示されている。

図１６の例では、コンコン交換による取得希望分として、単価１０００円のコンテンツ

Ｃ（１０スター）が１０個（合計１００００円）と、コンコン交換の対象として視聴者Ａが保有する単価１０００円のコンテンツＣが１０個（合計１００００円）とを交換するケースが示されている。この場合、図１６に示すように、差し引きの小計が０円（等価交換）となる。

このように、視聴者Ａは、自身が贈与されたコンテンツＣをコンコン交換の対象とすることができる。その結果、視聴者Ａは、所望の配信者Ｙが設定するコンテンツＣを効率良く取得することができる。

表示領域Ｆ５３には、「交換する」と表示されたボタンが表示されている。このボタンが押下されると、コンコン交換が実行される。

【０１３７】

図１７には、コンテンツ購入サイトのうち、コンテンツＣを購入するための決済処理が行われる際に表示される確認画面（以下、「カートページ」と呼ぶ）の具体例が示されている。

図１７に示すように、カートページは、表示領域Ｆ５７乃至Ｆ６０で構成される。

【０１３８】

表示領域Ｆ５７には、対象となる１以上の配信者Ｙの配信者ユーザ名と、配信者ＩＤと、視聴者Ａが購入するコンテンツＣの種類及び数量の入力欄とが表示されている。図１７の例では、対象となる２人の配信者Ｙの夫々の配信者ユーザ名と、配信者ＩＤと、贈与のために視聴者Ａが購入するコンテンツＣの種類及び数量の入力欄とが表示されている。

表示領域Ｆ５８には、購入と同時に視聴者Ａが売却するコンテンツＣの種類及び数量の入力欄が表示されている。売却に係る単価のレートは、本サービスにおいて管理されており、図示しない管理画面で変更することもできる。

表示領域Ｆ５９には、表示領域Ｆ５７及びＦ５８で指定されたコンテンツＣについての単価、数量、及び金額の小計の計算結果が示されている。

図１７の例では、計算結果として、差し引きの小計が３９５００円になるケースが示されている。

表示領域Ｆ６０には、「購入する」と表示されたボタンが表示されている。このボタンが押下されると、決済処理が実行される。

【０１３９】

図１７の例では、表示領域Ｆ５９に表示される小計の金額が３９５００円となっているが、この小計がマイナスになった場合には、売却となり、図１８の画面が表示される。

図１８には、コンテンツＣの売却時に表示される画面の例が示されている。

【０１４０】

表示領域Ｆ６１には、対象となる１以上の配信者Ｙの配信者ユーザ名と、配信者ＩＤと、視聴者Ａが購入するコンテンツＣの種類及び数量の入力欄とが表示されている。図１８の例では、図１７の例と同様に、対象となる２人の配信者Ｙの夫々の配信者ユーザ名と、配信者ＩＤと、視聴者Ａが購入するコンテンツＣの種類及び数量の入力欄とが表示されている。

表示領域Ｆ６２には、視聴者Ａが売却するコンテンツＣの種類及び数量の入力欄が表示されている。ここで、表示領域Ｆ６２には、視聴者Ａが売却するコンテンツＣの種類と、数量の入力欄とが表示されている。

表示領域Ｆ６３には、表示領域Ｆ６１及びＦ５８で指定されたコンテンツＣについての単価、数量、及び金額の小計の計算結果（売上２２７００円、収支１９７００円）が示されている。

表示領域Ｆ６４には、「取引完了」と表示されたボタンが表示されている。このボタンが押下されると売却手続きが完了する。

【０１４１】

以上、本発明の一実施形態について説明したが、本発明は、上述の実施形態に限定されるものではなく、本発明の目的を達成できる範囲での変形、改良等は本発明に含まれるものである。

【０１４２】
例えば、上述の実施形態では、配信者端末２及び視聴者端末３にインストールされた専用アプリを起動させることで、配信者端末２及び視聴者端末３において本サービスを利用することができるとしている。ただし、これは本サービスを利用するための手法の一例に過ぎない。専用アプリをインストールすることなく、所定のウェブサイトにアクセスし、所定のログイン操作を行うことで本サービスを利用できるようにしてもよい。
【０１４３】
また例えば、図９乃至図１８に示すコンテンツ購入サイトは例示に過ぎず、他の構成としてもよい。
【０１４４】
また例えば、上述の実施形態において、コンテンツＣは、配信者Ｙ毎に予め設定される構成となっているが、コンテンツＣを配信者Ｙに設定する主体について特に限定していない。このため、例えば本サービスにより自動的にコンテンツＣが設定されてもよいし、配信者Ｙが自らコンテンツＣの設定を行ってもよい。これにより、例えば単価１００００円のコンテンツＣのみを設定したり、単価５００円以上のコンテンツＣのみを設定したりするようなこともできる。配信者Ｙが自らコンテンツＣの設定を行うことができるので、配信者Ｙの価値観や個性に沿ったプレゼントの贈与を実現させることができる。
【０１４５】
また、図５に示すシステム構成や、図６に示す管理サーバ１のハードウェア構成は、本発明の目的を達成するための例示に過ぎず、特に限定されない。
例えば、図５に示す管理サーバ１は、図１９に示すように、メインサーバ１ａと、ビデオサーバ１ｂと、コメントサーバ１ｃとに区分することもできる。この場合、ビデオサーバ１ｂ及びコメントサーバ１ｃが、外部サーバ４－１乃至４－ｐとの間のやり取りを管理する構成とすることができる。
【０１４６】
また、図７に示す機能ブロック図は、例示に過ぎず、特に限定されない。即ち、上述した一連の処理を全体として実行できる機能が情報処理システムに備えられていれば足り、この機能を実現するためにどのような機能ブロックを用いるのかは、特に図７の例に限定されない。
【０１４７】
また、機能ブロックの存在場所も、図７に限定されず、任意でよい。
また、１つの機能ブロックは、ハードウェア単体で構成してもよいし、ソフトウェア単体で構成してもよいし、それらの組み合わせで構成してもよい。
【０１４８】
各機能ブロックの処理をソフトウェアにより実行させる場合には、そのソフトウェアを構成するプログラムが、コンピュータ等にネットワークや記録媒体からインストールされる。
コンピュータは、専用のハードウェアに組み込まれているコンピュータであってもよい。また、コンピュータは、各種のプログラムをインストールすることで、各種の機能を実行することが可能なコンピュータ、例えばサーバの他汎用のスマートフォンやパーソナルコンピュータであってもよい。
【０１４９】
このようなプログラムを含む記録媒体は、各ユーザにプログラムを提供するために装置本体とは別に配布される、リムーバブルメディアにより構成されるだけではなく、装置本体に予め組み込まれた状態で各ユーザに提供される記録媒体等で構成される。
【０１５０】
なお、本明細書において、記録媒体に記録されるプログラムを記述するステップは、その順序に添って時系列的に行われる処理はもちろん、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的或いは個別に実行される処理をも含むものである。
【０１５１】

また、本明細書において、システムの用語は、複数の装置や複数の手段等より構成される全体的な装置を意味するものである。

【０１５２】

以上まとめると、本発明が適用される情報処理装置は、次のような構成を取れば足り、各種各様な実施形態を取ることができる。

即ち、本発明が適用される情報処理装置（例えば図１の管理サーバ１）は、

１以上の画像（例えば図１の画像Ｐ１乃至Ｐｒ）を含む情報（例えば配信情報）を配信する１以上の配信者（例えば図１の配信者Ｙ）と、配信された前記情報を取得する取得者（例えば図１の視聴者Ａ）とを支援する情報処理装置であって、

前記配信者毎に設定されたコンテンツ（例えばコンテンツＣ）の夫々を、設定された前記配信者の夫々と対応付けて管理するコンテンツ管理手段（例えば図７の対応付部１３１）と、

所定条件が満たされた場合、所定配信者に設定された前記コンテンツを前記取得者に提供するコンテンツ提供手段（例えば図７の提供制御部１３２）と、

前記コンテンツ提供手段により提供された前記コンテンツについて、前記所定配信者を贈与対象者として、前記取得者から当該贈与対象者に対する贈与の希望がなされた場合、それを贈与希望として受付ける贈与受付手段（例えば図７の受付部１３３）と、

前記贈与希望の内容に基づいて、前記贈与対象者に対して所定の処理を実行する実行手段（例えば図７の実行部１３４）と、

を備える。

【０１５３】

これにより、画像等を配信する者、及び配信された画像等を視聴する者の夫々にとって利便性の高いサービスを提供することができる。

【０１５４】

また、前記コンテンツは前記取得者に対して提供し得る対価の額により１以上の種別に分類されることができる。

【０１５５】

また、前記コンテンツは、それと対応付けられる前記配信者の夫々によって設定されることができる。

【０１５６】

また、前記コンテンツは、売買、又はコンテンツ同士の交換により流通可能とされることができる。

【０１５７】

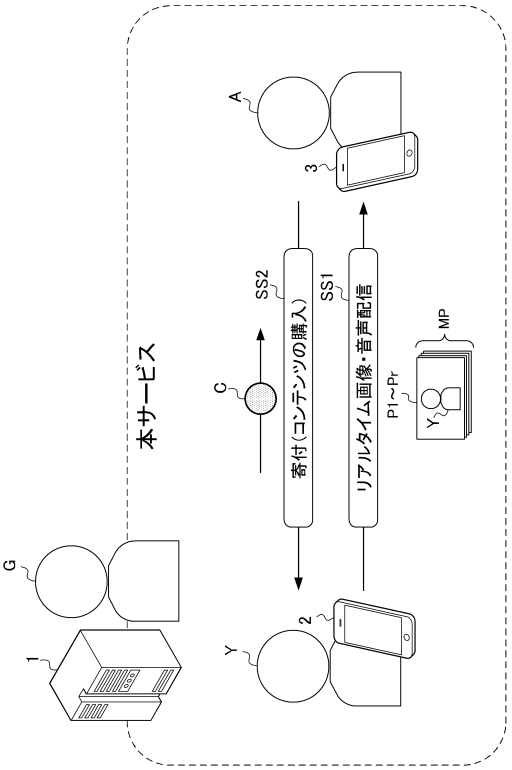
これにより、画像等を配信する者、及び配信された画像等を視聴する者の夫々にとってさらに利便性の高いサービスを提供することができる。

【符号の説明】

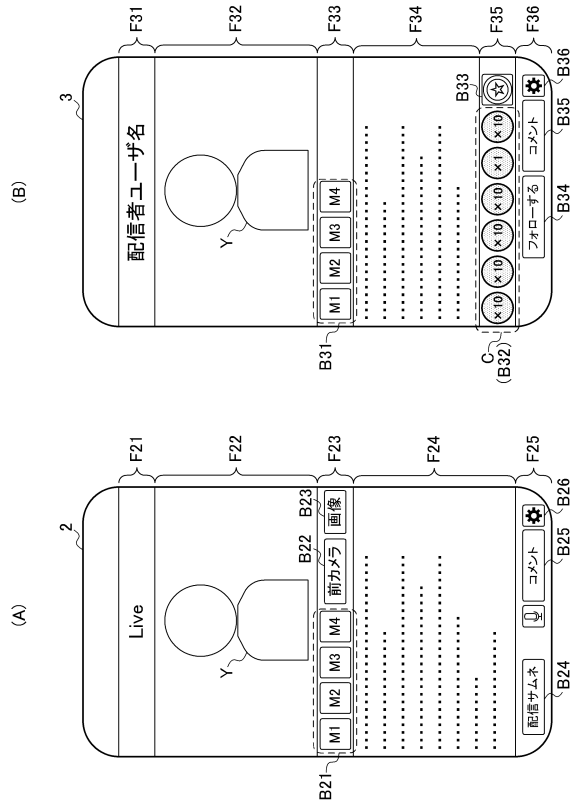
【０１５８】

１：サーバ、２，２－１乃至２－ｎ：配信者端末、３，３－１乃至３－ｍ：視聴者端末、４，４－１乃至４－ｐ：外部サーバ、１１：ＣＰＵ、１２：ＲＯＭ、１３：ＲＡＭ、１４：バス、１５：入出力インターフェース、１６：出力部、１７：入力部、１８：記憶部、１９：通信部、２０：ドライブ、３０：リムーバブルメディア、１０１：配信支援部、１０２：視聴支援部、１０３：コンテンツ管理部、１１１：指定受付部、１１２：設定受付部、１１３：撮像制御部、１１４：表示制御部、１１５：受付部、１１６：配信制御部、１２１：提示部、１２２：受付部、１２３：表示制御部、１３１：対応付部、１３２：提供制御部、１３３：受付部、１３４：実行部、１８１：配信者ＤＢ、１８２：視聴者ＤＢ、１８３：コンテンツＤＢ、Ｃ：コンテンツ、Ｇ：サービス提供者、Ｙ，Ｙ１乃至Ｙｎ，Ｙｔ：配信者、Ａ：視聴者、Ｐ，Ｐ１乃至Ｐｒ：画像、ＭＰ：動画像、Ｍ，Ｍ１乃至Ｍｐ：ライブ配信サイト、Ｎ：ネットワーク、ＳＳ：本サービスにおける各ステップ、Ｆ：各表示領域、Ｂ：各ボタン

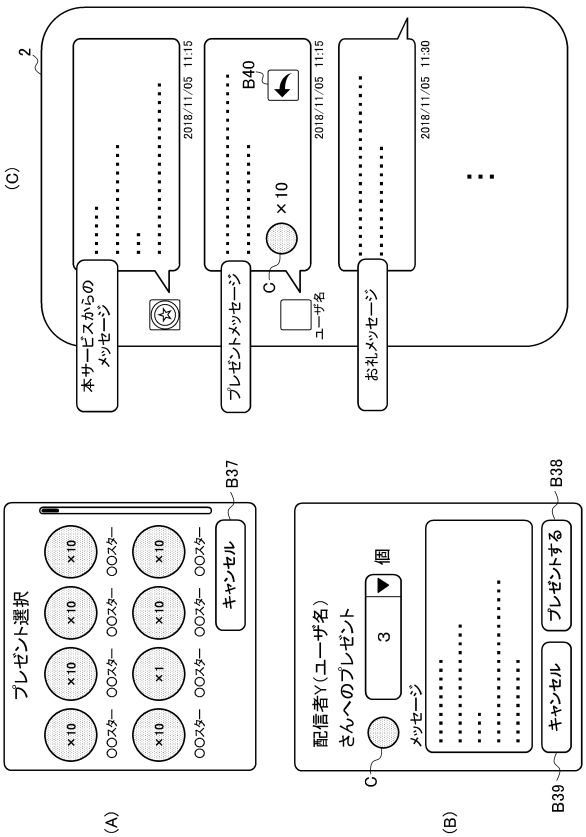
【図１】


本サービス
G
1
Y
2
A
3
C
SS2
寄付（コンテンツの購入）
SS1
リアルタイム画像・音声配信
P1～Pr
MP
Y

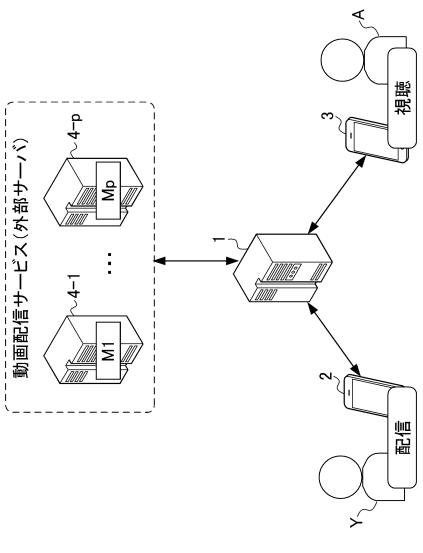
【図２】


(A)
2
Live
Y
B21
M1
M2
M3
M4
B22
前カメラ
B23
画像
B24
配信サムネ
B25
コメント
B26
F21
F22
F23
F24
F25
(B)
3
配信者ユーザ名
Y
B31
M1
M2
M3
M4
B32
C
B33
×10
×1
B34
フォローする
B35
コメント
B36
F31
F32
F33
F34
F35
F36

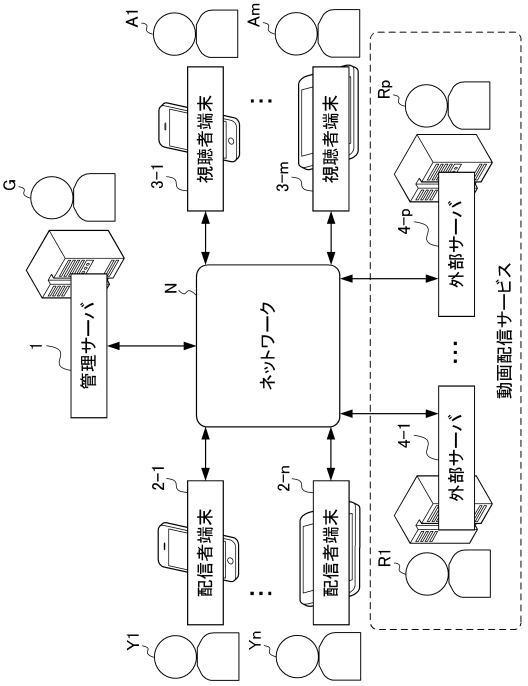
【図３】


(C)
2
本サービスからのメッセージ
2018/11/05 11:15
プレゼントメッセージ
2018/11/05 11:15
B40
×10
C
ユーザ名
お礼メッセージ
2018/11/05 11:30
(A)
プレゼント選択
×10
×1
OOスター
キャンセル
B37
(B)
配信者Y（ユーザ名）
さんへのプレゼント
3
個
メッセージ
C
キャンセル
プレゼントする
B38
B39

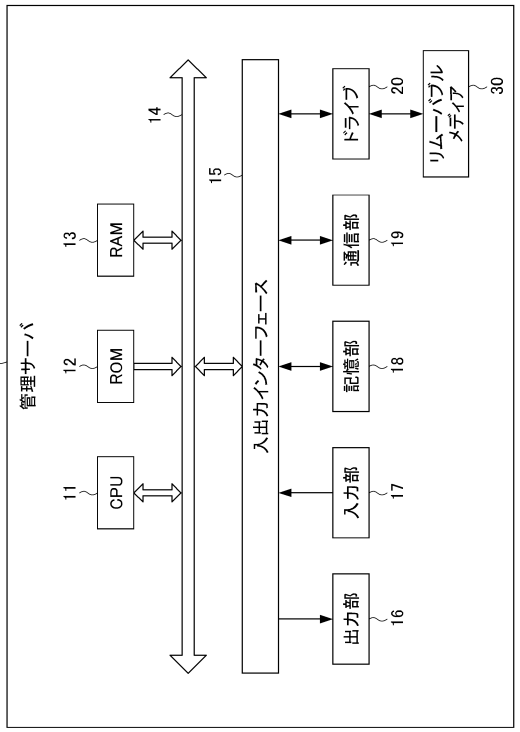
【図４】


動画配信サービス（外部サーバ）
4-1
M1
4-p
Mp
1
2
配信
Y
3
視聴
A

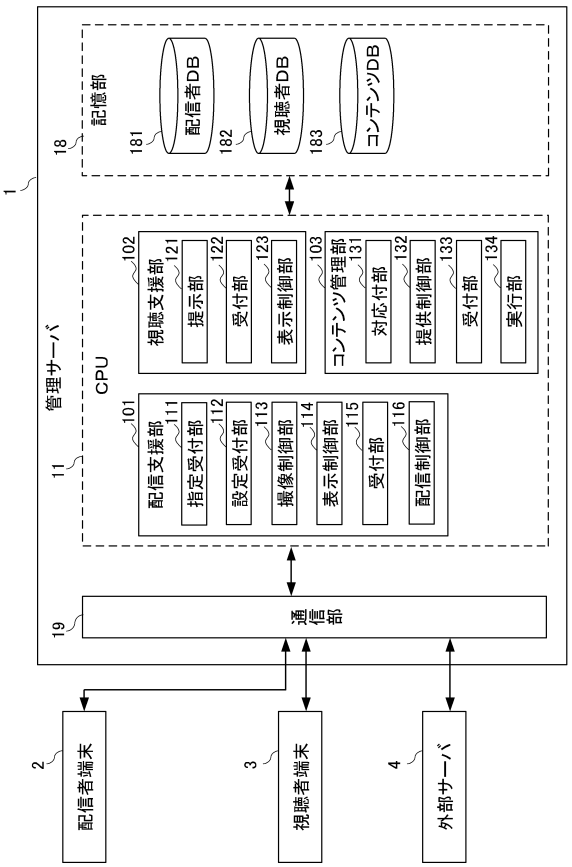
【図５】


管理サーバ
1
ネットワーク
N
配信者端末
2-1
2-n
視聴者端末
3-1
3-m
外部サーバ
4-1
4-p
動画配信サービス
G
R1
Rp
Y1
Yn
A1
Am

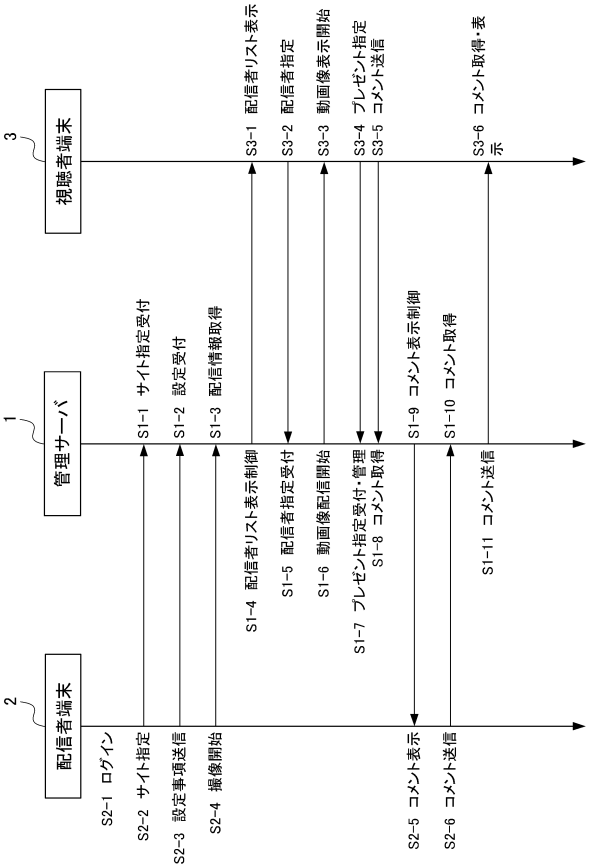
【図６】


管理サーバ
1
CPU
11
ROM
12
RAM
13
14
入出力インターフェース
15
出力部
16
入力部
17
記憶部
18
通信部
19
ドライブ
20
リムーバブルメディア
30

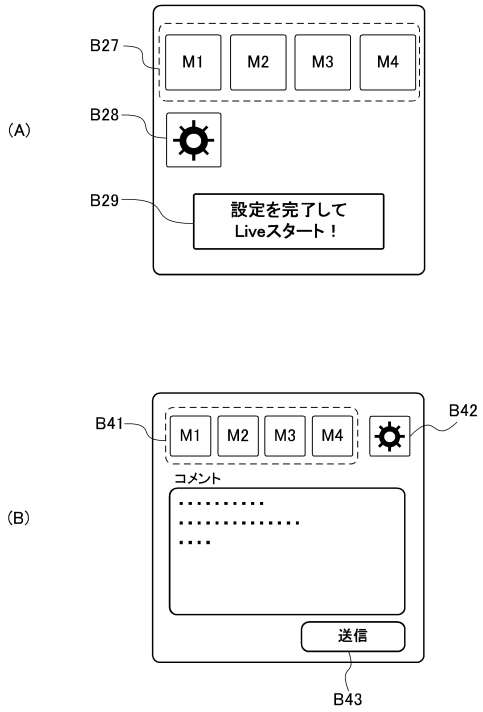
【図７】


管理サーバ
1
CPU
11
記憶部
18
配信者DB
181
視聴者DB
182
コンテンツDB
183
配信支援部
101
指定受付部
111
設定受付部
112
撮像制御部
113
表示制御部
114
受付部
115
配信制御部
116
視聴支援部
102
提示部
121
受付部
122
表示制御部
123
コンテンツ管理部
103
対応付部
131
提供制御部
132
受付部
133
実行部
134
通信部
19
配信者端末
2
視聴者端末
3
外部サーバ
4

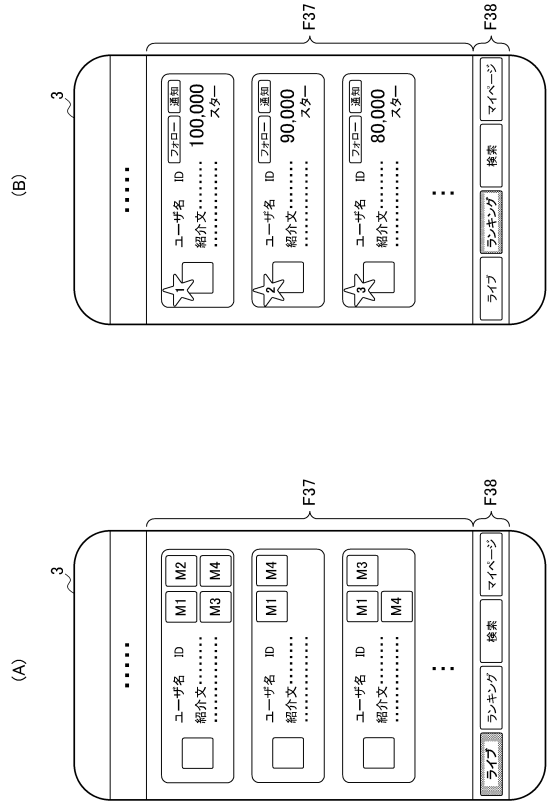
【図８】


配信者端末
2
管理サーバ
1
視聴者端末
3
S2-1 ログイン
S2-2 サイト指定
S2-3 設定事項送信
S2-4 撮像開始
S1-1 サイト指定受付
S1-2 設定受付
S1-3 配信情報取得
S1-4 配信者リスト表示制御
S1-5 配信者指定受付
S1-6 動画像配信開始
S1-7 プレゼント指定受付・管理
S1-8 コメント取得
S1-9 コメント表示制御
S1-10 コメント取得
S1-11 コメント送信
S3-1 配信者リスト表示
S3-2 配信者指定
S3-3 動画像表示開始
S3-4 プレゼント指定
S3-5 コメント送信
S3-6 コメント取得・表示
S2-5 コメント表示
S2-6 コメント送信

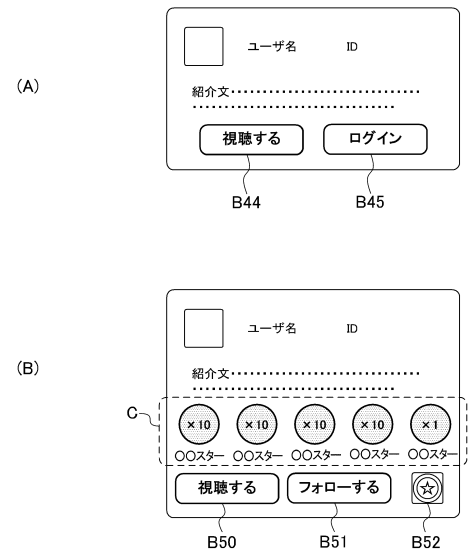
【図９】



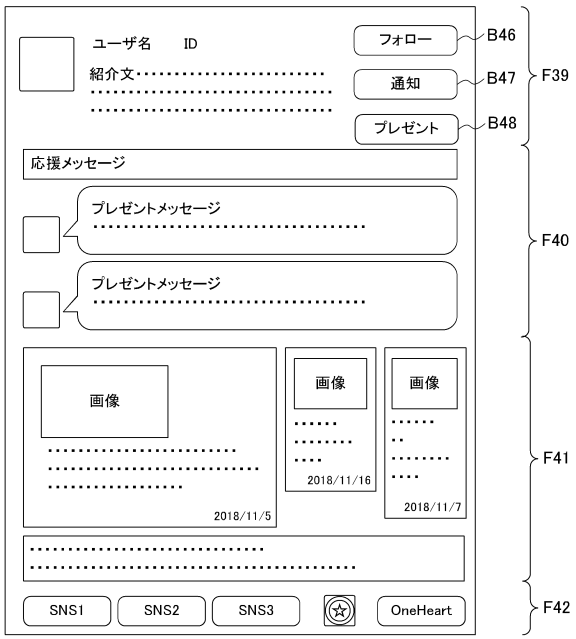
【図１０】



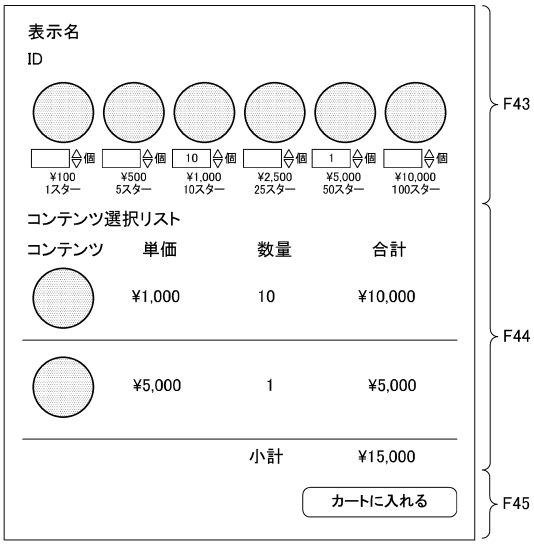
【図１１】



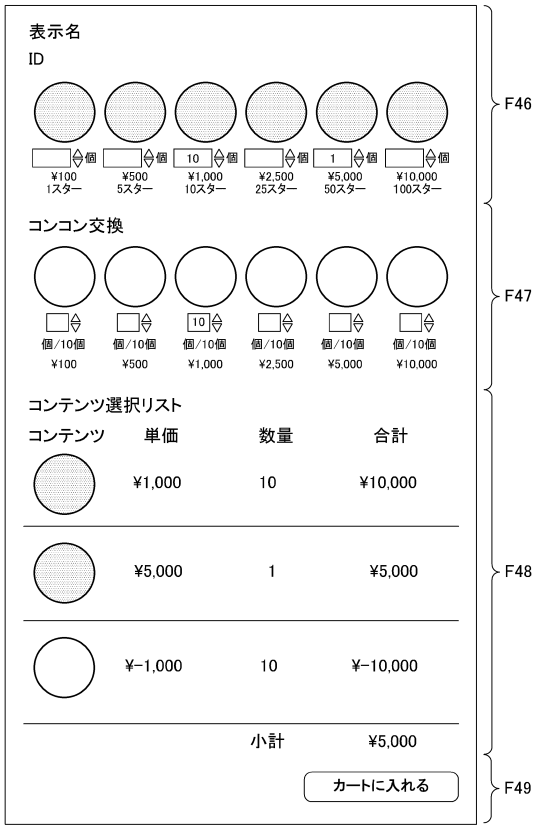
【図１２】



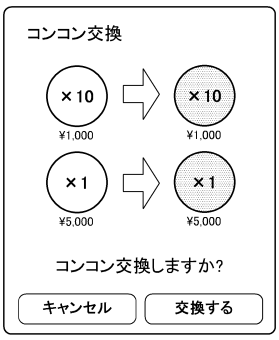
【図１３】



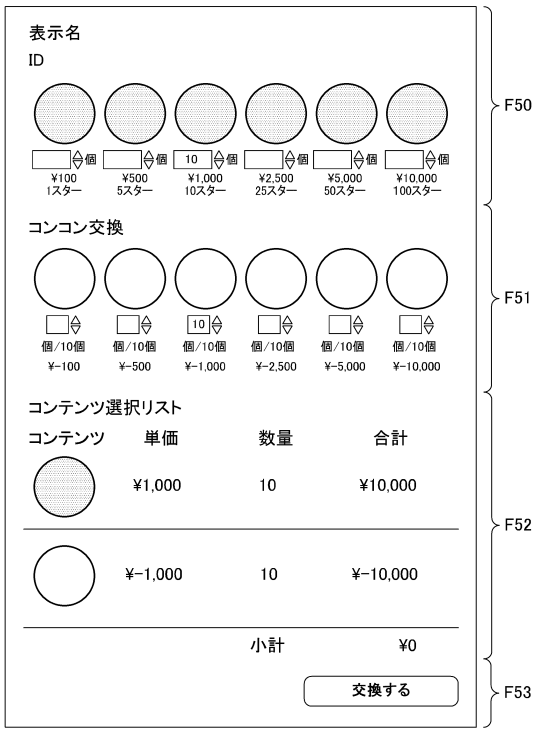
【図１４】



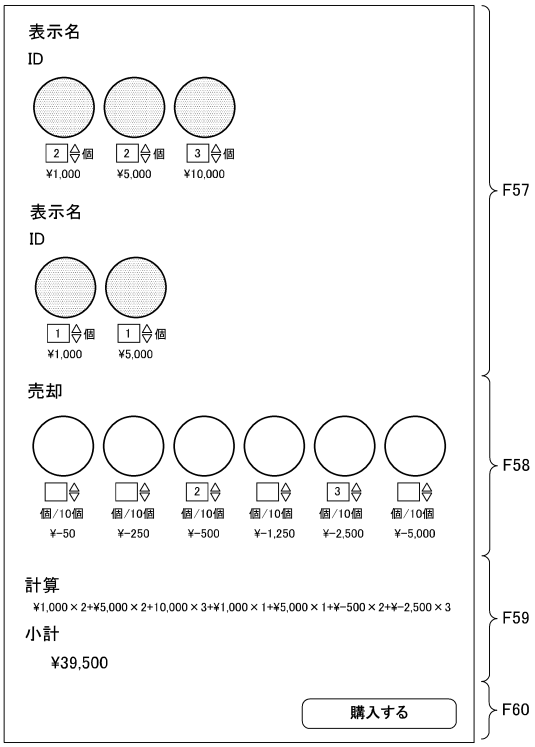
【図１５】



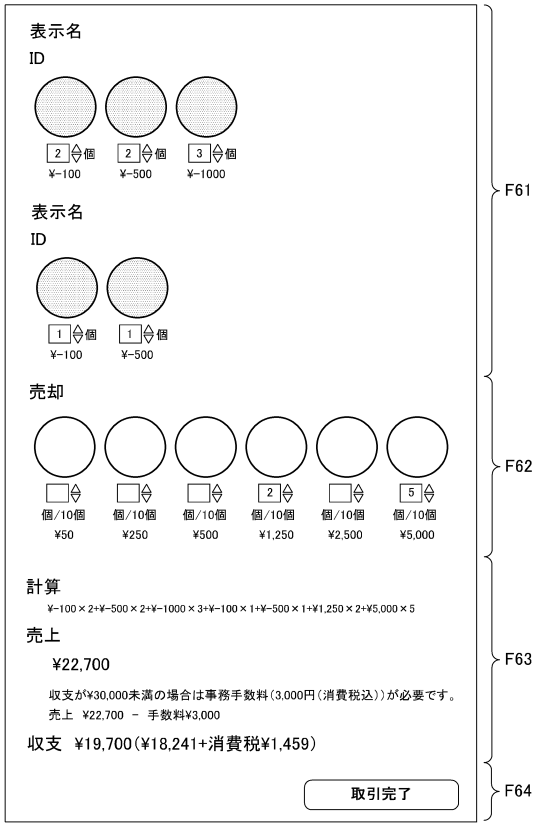
【図１６】



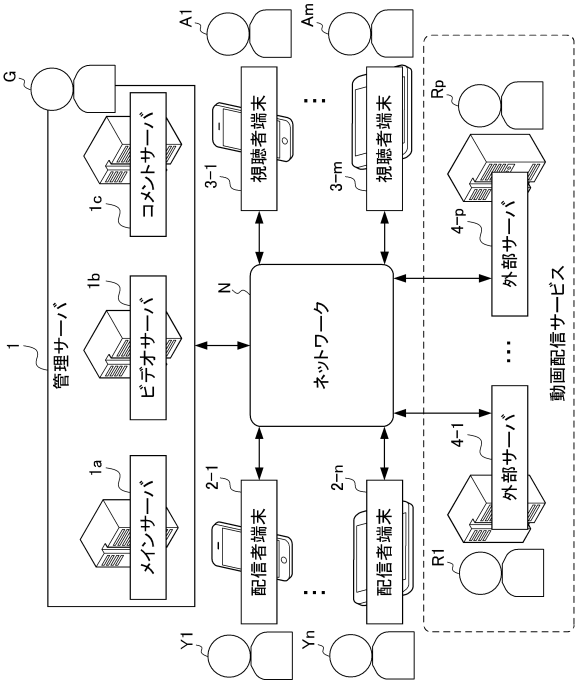
【図１７】


表示名
ID
2 個 ¥1,000
2 個 ¥5,000
3 個 ¥10,000
表示名
ID
1 個 ¥1,000
1 個 ¥5,000
売却
個/10個 ¥-50
個/10個 ¥-250
2 個/10個 ¥-500
個/10個 ¥-1,250
3 個/10個 ¥-2,500
個/10個 ¥-5,000
計算
¥1,000×2+¥5,000×2+10,000×3+¥1,000×1+¥5,000×1+¥-500×2+¥-2,500×3
小計
¥39,500
購入する
F57
F58
F59
F60

【図１８】


表示名
ID
2 個 ¥-100
2 個 ¥-500
3 個 ¥-1000
表示名
ID
1 個 ¥-100
1 個 ¥-500
売却
個/10個 ¥50
個/10個 ¥250
個/10個 ¥500
2 個/10個 ¥1,250
個/10個 ¥2,500
5 個/10個 ¥5,000
計算
¥-100×2+¥-500×2+¥-1000×3+¥-100×1+¥-500×1+¥1,250×2+¥5,000×5
売上
¥22,700
収支が¥30,000未満の場合は事務手数料(3,000円(消費税込))が必要です。
売上 ¥22,700 － 手数料¥3,000
収支 ¥19,700(¥18,241+消費税¥1,459)
取引完了
F61
F62
F63
F64

【図１９】


A1
Am
G
コメントサーバ
1c
3-1
視聴者端末
3-m
視聴者端末
Rp
外部サーバ
4-p
1
管理サーバ
1b
ビデオサーバ
N
ネットワーク
動画配信サービス
1a
メインサーバ
2-1
配信者端末
2-n
配信者端末
4-1
外部サーバ
R1
Y1
Yn

フロントページの続き

(72)発明者　北島　成治
東京都港区六本木２丁目３番９号　ステルスバリュー合同会社内

審査官　田川　泰宏

(56)参考文献　国際公開第２０１８／１４２４９４（WO，Ａ１）
特開２０１８－１８２５４６（ＪＰ，Ａ）
特許第６４３００５９（ＪＰ，Ｂ１）
特開２０１６－２４６８２（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｇ０６Ｑ　１０／００－９９／００
Ｇ０６Ｆ　１３／００
Ｈ０４Ｎ　２１／２５４３
Ｈ０４Ｎ　２１／２７４３